

# 2023年度通期決算報告書

プレスリリース

2024年2月1日、パリ発

2023

すべてのステークホルダーに価値を創造する堅調な業績を達成

- 分配可能純利益<sup>1</sup>は**11,232**百万ユーロ（**2022年度公表額比+10.2%**）で、**2023年度**の目標に沿った水準  
2023年度の当グループの純利益（公表額）：10,975百万ユーロ
- 営業収益は増加<sup>1</sup>、ジョーズ効果はプラス<sup>1</sup>、リスク費用は低水準
- **2023年度**の自己株式取得プログラムにより押し上げられ、**1株当たり純利益<sup>2</sup>（9.21ユーロ）は18%増加、株主還元率は60%<sup>3</sup>**
  - 2023年度配当：現金配当**4.60**ユーロ<sup>4</sup>、2022年度比**18%**増
  - 2024年度の自己株式取得プログラムは**1.05**十億ユーロ<sup>4</sup>
- 財務構造は盤石（普通株式等Tier1比率は**13.2%<sup>5</sup>**、**2022年12月末比+90**ベースポイント）
- 資本の再配分は節度ある方法で順調に進んでいる

低炭素エネルギーへの融資を加速

AIの普及とともに、生成AIを強化

**BNPパリバは、多角的、統合的かつ規模を拡大したビジネスモデルを強みとし、また、お客様にサービスを提供する各チームの結集および強いコミットメントにより、経済全般の成長を上回るペースで今後も成長し続ける。**

1. 分配可能純利益は、2023年度の配当の算出の基礎となるものであり、Bank of the Westの売却による影響および単一破綻処理基金の増額への拠出後の当グループの本源的業績を反映し、特別損益項目を除いている。2023年度決算資料のスライド11に記載。増減はこれに基づき算出; 2. 期末の1株当たり分配可能利益; 3. TSSDI（永久最劣後債）に係る配当を考慮後; 4. 2024年5月14日に開催される株主総会の承認（配当について）およびECBの認可（自己株式取得プログラムについて）を要する; 5. 資本要求指令5（CRD5）。国際財務報告基準（IFRS）第9号経過規定を含む



BNP PARIBAS

The bank  
for a changing  
world



本プレスリリースに含まれる数値は、未監査の数値です。

2023年5月2日、BNPパリバは、2022年度の四半期の数値を修正再表示し、各四半期について（i）2023年2月1日のBank of the Westの売却に伴う、売却目的で保有する資産および負債の処分グループに関するIFRS第5号の適用、（ii）2023年1月1日付でのIFRS第17号（保険契約）の適用および保険会社に対するIFRS第9号の適用、（iii）2022年1月1日付でのトルコに対する国際会計基準（IAS）第29号（超インフレ経済下における財務報告）の適用、ならびに（iv）グローバル・マーケット事業およびベルギーのコマーシャル&個人向けバンキングにおける事業および純利益の内部振替を反映したものを公表しました。2022年度の四半期の数値は、これらの影響について2022年1月1日に発生したものととして修正再表示されています。さらに、2023年12月11日、BNPパリバは、グローバル・マーケット事業内の事業の内部振替を反映するため、2022年度および2023年度の四半期の数値を修正再表示したものを公表しました。当該振替による同事業の全体的な業績への影響はありませんでした。2024年1月31日、BNPパリバは、一時項目を特別損益項目に再分類したことを反映するため、2023年度第3四半期累計期間（1-9月）分配可能純利益を修正再表示したものを公表しました。本プレスリリースに記載されている数値には、上記の修正再表示がすべて反映されています。

本プレスリリースには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の予測や見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNPパリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNPパリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルまたはBNPパリバの主要地域市場における経済状況の変化（世界的には特に新型コロナウイルスのパンデミック関連）、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレスリリースに含まれるいかなる予測的な記述も本プレスリリース発行日現在の予測です。

BNPパリバは、新たな情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正または更新する責任を負いません。これに関連して、「監督上の検証・評価プロセス（Supervisory Review and Evaluation Process：SREP）」は欧州中央銀行（ECB）により毎年実施されますが、BNPパリバ・グループが満たすべき所要資本比率は毎年修正される可能性があることに留意が必要です。

本プレスリリースに含まれるBNPパリバ以外の第三者に関わる情報または外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独自に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表明または保証を明示あるいは示唆してはならず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に依拠することはできません。BNPパリバまたはその代表者ともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレスリリースもしくはその内容の使用により生ずる、または本プレスリリースやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。

表中および分析において掲載された数値は四捨五入のため、内訳の合計と総数に若干の差異が生じる場合があります。



BNPパリバの取締役会が2024年1月31日に開催され、ジャン・ルミエール会長が議長を務めるなか、当グループの2023年度第4四半期の業績が検討され、2023年度の財務諸表が承認されました。

ジャン＝ローラン・ボナフェCEO（最高経営責任者）は取締役会の最後に、以下のように述べました。

「BNPパリバは、2023年度において極めて高い業績を達成しましたが、これは当グループの多角的なビジネスモデルの堅固性、プラットフォームの効率性ならびに個人、法人および機関投資家の顧客のニーズに対応するために発展し続ける当グループの能力を反映しています。当グループの各チームの結集および専門知識ならびに技術革新を強みとして、BNPパリバは今後も成長を続け、市場シェアを拡大していきます。

また、2023年度は、経済および社会の移行に貢献するため、化石燃料生産への融資を終了する一方で、低炭素エネルギー生産向け融資を大きく加速させた年でした。当グループのすべてのチームのコミットメントに謝意を表するとともに、長期的に顧客およびパートナーを支援し、より広範には欧州経済に貢献するという使命に引き続き注力していきます。」

\*  
\* \*

## 堅調な業績

BNPパリバは多角的かつ統合的なビジネスモデルを備えており、チーム、資源および能力を結集して顧客に寄り添い、経済とともに歩む力を包括的に擁しているため、2023年度においても引き続き事業活動と純利益を成長させることができました。

当グループの業績は、分配可能純利益<sup>1</sup>に反映されているように、堅調に推移し、2023年度の目標に沿った水準でした。分配可能純利益<sup>1</sup>は、2023年度において11,232百万ユーロとなり、2022年度の純利益（公表額）<sup>2</sup>と比較して10.2%増と大幅に増加しました。分配可能純利益は、Bank of the Westの売却による影響および単一破綻処理基金の増額への抛出後の当グループの本源的業績を反映したものであり、これにより、コーポレート・センターで認識された2023年度の特別損益項目による非常に大きなマイナス影響を吸収することができました。

その結果<sup>1</sup>、営業収益の増加は好調（+3.3%）で、営業費用は1.0%減少しました。当グループはプラスのジョーズ効果<sup>3</sup>を達成しました。長期的アプローチおよび慎重かつ積極的なリスク管理により、リスク費用は低水準（顧客向け融資残高の32ベースポイント相当）<sup>4</sup>にあり、過去10年間のリスクプロファイルの構造的改善もこれを後押ししました。

財務構造は盤石で、普通株式等Tier1比率は、新たなCRR3規則の施行後の目標である12%の達成に向けて順調に推移しています。最後に、資本の再配分は順調に進んでおり、節度ある方法で、成長の加速を維持しています。

<sup>1</sup> 純利益は、2023年度の配当の算出の基礎となるものであり、2023年度決算資料のスライド11に記載されている。増減はこれに基づき算出されている

<sup>2</sup> 2023年2月7日の公表額、すなわち10,196百万ユーロ

<sup>3</sup> 分配可能ベースで+1.0ポイント。一時的な営業費用およびIFRIC第21号に基づく賦課金を除く

<sup>4</sup> 注：リスク費用には、「金融商品に係るリスクに関するその他の純損失」、すなわち金融商品の無効または執行不能のリスクに関連する費用（コーポレート・センターで認識された2023年度のポーランドの住宅ローンに対する特別引当金、パーソナル・ファイナンスに関連する訴訟引当金および債権に係るリスクに対する引当金（2023年度は775百万ユーロ））は含まない





BNPパリバは、2023年度において、低炭素エネルギー生産<sup>1</sup>向け融資を大きく加速させ、化石燃料生産<sup>2</sup>への融資を終了したことで、際立った存在となりました。現在、低炭素エネルギー生産向け信用エクスポージャーは、エネルギー生産向け融資残高全体の65%<sup>3</sup>を占めています。当初2030年に設定していた80%の目標は2028年に前倒しし、2030年までに90%を目標としています。2023年末現在、BNPパリバが石油・ガスの採掘・生産を行う企業に供与する融資フローと再生可能エネルギー・プロジェクトへの融資フローの比率は、1対11となっています。

BNPパリバは、多角的なビジネスモデルを強みとして、経済全般の成長を上回るペースで成長を続け、市場シェアを拡大することで、経済ベースライン・シナリオと比較してより顕著となった経済環境の悪化を相殺するものと思われます。それにもかかわらず、公的機関による様々な決定（ECBの法定準備金、ベルギーの銀行税およびベルギー国債）が2023年度において顕著でした。これらを総合的に考慮すると、2025年の予想ROTEは、11.5%から12%の範囲になります。現在のサイクルにより特に影響を受けているパーソナル・ファイナンスおよび不動産管理事業では、2023年に強固な適応計画を開始し、早ければ2026年には名目上の収益性が回復するものと思われます。BNPパリバは、その長期的な戦略ならびにパーソナル・ファイナンスおよび不動産管理事業が正常な状態に戻ることを踏まえて、早ければ2026年には12%のROTEを達成できるものと確信しています。

2023年度通期において、営業収益は45,874百万ユーロ（前年度は45,430百万ユーロ）となりました。これは、2022年度第4四半期に欧州中央銀行が決定したTLTROの条件変更に伴う一時的なマイナス影響（-938百万ユーロ）および2023年度第2四半期に計上された訴訟引当金による一時的影響（-125百万ユーロ）を反映したもので、いずれもコーポレート・センターで認識されています。

分配可能純利益を算出するための調整を行った営業収益は、3.3%増加し、46,927百万ユーロとなりました。これは、一時的なマイナス影響および追加調整（115百万ユーロ）を除外したもので、調整額は合計1,053百万ユーロでした。

事業部門の営業収益は、1.8%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+2.5%）でした。ホールセールバンキング（CIB）部門の営業収益は、0.6%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+2.0%）でした。これには、グローバル・バンキング事業の大幅な増収（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+14.5%）および証券管理事業の増収（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+5.6%）が貢献しました。グローバル・マーケット事業の営業収益は、取引がさらに正常化したことにより、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと6.5%減でした。コマмерシャル&個人向けバンキングサービス（CPBS）部門の営業収益<sup>4</sup>は、4.3%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+4.7%）でした。コマмерシャル&個人向けバンキング事業の営業収益（+4.6%）は、正味利息収益の増加により大幅に増加しました。専門的金融事業の営業収益は、アルバルとリーシング・ソリューションズ（+12.5%）およびニューデジタル事業と個人投資家事業（+19.0%）における大幅増収により、3.8%増となりました。パーソナル・ファイナンスにとってはあまり有利な環境ではありませんでした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-3.1%）。インベストメント&プロテクションサービス（IPS）部門の営業収益は、3.8%減（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-3.6%）でしたが、その要因は、不動産管理事業における現在の景気後退およびプリンシパル・インベストメントにおけるベース効果による大きなマイナス影響でした。不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメントの寄与を除くと、IPS部門の営業収益は3.7%増で、ウェルス・マネジメント事業（+6.0%）および保険事業（+3.6%）における持続的成長により牽引されました。

グループ全体の営業費用は30,956百万ユーロ（前年度は29,864百万ユーロ）となりました。当年度の営業費用には、一時項目による影響として、事業再編費用と事業適応費用（182百万ユーロ）およびIT強化費用（395百万ユーロ）による合計576百万ユーロ（前年度は490百万ユーロ）が反映されていました。また、当年度の営業費用には、特にパーソナル・ファイナンスに関する事業適応費用全般による一時的影響（276百万ユーロ）も反映されていました。当年度のグループ全体の営業費用は、国際財務報告解釈指針委員会（IFRIC）第21号に基づく賦課金による影響も受けました。当年度の賦課金は1,896百万ユーロ（前年度は1,874百万ユーロ）で、これには単一破綻処理基金への拠出額1,002百万ユーロ（前年度は1,256百万ユーロ）

<sup>1</sup> 再生可能エネルギー、バイオ燃料、原子力

<sup>2</sup> 精製、石油・ガスの探査・生産、石炭

<sup>3</sup> 出所：内部管理数値

<sup>4</sup> プライベートバンキングの100%を含む（フランスのPEL/CELの影響を除く）



および特別損益項目とみなされる英国銀行税による影響（226百万ユーロ）が含まれています。これらの一時項目および特別損益項目は、コーポレート・センターで認識されています。

分配可能純利益を算出するための調整を行った営業費用は、**29,580百万ユーロ**となり、**1.0%減**でした。これは、予想される単一破綻処理基金の増額終了による影響（英国銀行税による影響を含む）（-1,028百万ユーロ）および追加調整（-72百万ユーロ）を反映し、特にパーソナル・ファイナンスに関する事業適応費用全般による一時的影響（276百万ユーロ）を除外したもので、調整額は合計**1,376百万ユーロ**となりました。その結果、当グループはプラスのジョーズ効果を達成しました。

事業部門の営業費用は、**2.3%増**（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**+3.1%**）でした。CIB部門の営業費用は、**1.2%増**（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**+2.9%**）でした。グローバル・バンキング事業および証券管理事業のジョーズ効果はプラスでした。CPBS部門の営業費用<sup>1</sup>は、**3.5%増**（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**+3.8%**）で、ジョーズ効果はプラス（**+0.8ポイント**）<sup>1</sup>でした。営業費用<sup>1</sup>は、コマース&個人向けバンキング事業において**2.5%増**、専門的金融事業において**5.8%増**でした。IPS部門の営業費用は、**0.4%増**（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**+0.6%**）で、不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメントの寄与を除くと、ジョーズ効果はプラス（**+2.1ポイント**）でした。

以上から、グループ全体の営業総利益は、**14,918百万ユーロ**（前年度は15,566百万ユーロ）となりました。

分配可能純利益を算出するための調整を行ったグループ全体の営業総利益は、**17,347百万ユーロ**となり、**11.4%増**でした。

グループ全体のリスク費用は、**2,907百万ユーロ**<sup>2</sup>（前年度は3,003百万ユーロ）となり、顧客向け融資残高の**32ベースポイント**相当で、**低水準で推移**しました。これは、当年度における正常債権に対する引当金の戻入**517百万ユーロ**およびパーソナル・ファイナンスのリスク費用を除いた不良債権に対する引当金**1,833百万ユーロ**を反映しています。

金融商品に係るリスクに関するその他の純損失は、金融商品の無効または執行不能のリスクに関連する費用で、当年度は**775百万ユーロ**となり、コーポレート・センターで認識されています。当年度については、ポーランドの住宅ローンに対する引当金（**450百万ユーロ**）、パーソナル・ファイナンスに関連する訴訟引当金（**221百万ユーロ**）および債権に係るリスクに対する引当金（**104百万ユーロ**）による一時的影響が反映されています。これらの金融商品に係るリスクに関するその他の純損失は、当年度には特別損益項目とみなされ、コーポレート・センターで認識され、分配可能純利益を算出する際は除外されています。

グループ全体の営業利益は、**11,236百万ユーロ**となりました。前年度は**12,564百万ユーロ**でした。

分配可能純利益を算出するための調整を行ったグループ全体の営業利益は、**14,440百万ユーロ**となり、**14.9%増**でした。

グループ全体の営業外項目は、**489百万ユーロ**（前年度は651百万ユーロ）となりました。当年度の営業外項目には、保険事業の売却に伴う一時的影響（-87百万ユーロ）および売却に伴う譲渡益（+91百万ユーロ）が反映されています。前年度の営業外項目には、bpost bankの負ののれんから生じたプラス影響（+244百万ユーロ）および譲渡益（+204百万ユーロ）が反映されていましたが、Ukrsibbank株式の減損および為替換算差額の純損益への分類変更に伴うマイナス影響（-433百万ユーロ）により相殺されました。

グループ全体の税引前利益は、**11,725百万ユーロ**（前年度は13,214百万ユーロ）となりました。

法人税率は、平均で**29.3%**（前年度は**29.7%**）でした。当グループは多額の納税者でもあり、当年度に納付した税金および賦課金の総額は**6.8十億ユーロ**でした。

<sup>1</sup> プライベートバンキングの100%を含む（フランスのPEL/CELの影響を除く）

<sup>2</sup> 注：リスク費用には、金融商品に係るリスクに関するその他の純損失は含まない



当グループは、2023年2月1日にBank of the Westの売却を完了しました。2021年12月20日に発表された当該取引の条件は、売却目的で保有する資産および負債のグループに関してIFRS第5号の適用範囲に該当しません。IFRS第5号に従い、当年度における売却目的保有事業の純利益は2,947百万ユーロとなりましたが、これはBank of the Westの売却による譲渡益を反映しており、特別損益項目として扱われています。かかる利益は、前年度は687百万ユーロでした。

以上から、当グループの純利益は、当年度において10,975百万ユーロとなりました。前年度は9,848百万ユーロでした。

2023年2月に発表されたように、当年度における当グループの純利益には、当グループの分配可能純利益を算出するための調整が行われています。これは、Bank of the Westの売却後および単一破綻処理基金の増額への拠出の終了後の当グループの本源的業績を反映したものであり、これにより、当年度の特別損益項目によるマイナス影響を吸収することができました。当年度の分配可能純利益は、2023年2月に公表した当グループの純利益（10,196百万ユーロ）と比較して10.2%（1,036百万ユーロ）増の11,232百万ユーロとなり、2023年度の目標に沿った水準でした。2023年度第3四半期累計期間（1-9月）の分配可能純利益は、これらの影響を年間ベースで反映するために修正再表示され（2024年1月31日付発表を参照）、修正再表示後は9,225百万ユーロとなりました（修正再表示前は8,810百万ユーロ）。

有形自己資本利益率（再評価前）は、10.71%（分配可能純利益ベースでは10.98%）となりました。これは、当グループの堅調な業績を反映しており、多角的かつ統合的なビジネスモデルの強みが貢献しました。

2023年12月31日現在、普通株式等Tier1比率は13.2%<sup>1</sup>でした。流動性カバレッジ比率（期末）は、2023年12月31日現在、148%でした。当グループの即時利用可能な余剰資金は474十億ユーロに上り、これは資金調達との関係で1年超の余裕資金があることを意味しています。レバレッジ比率<sup>2</sup>は4.6%でした。

1株当たり有形純資産額<sup>3</sup>は87.6ユーロで、2022年12月31日から10.4%増加し、当グループが景気循環を通じて企業価値を継続的に創造していることを証明しています。

取締役会は、2024年5月14日に開催する株主総会で、1株当たり4.60ユーロの現金配当を株主に提案する予定です。これは、2023年度の配当可能純利益に対する配当性向50%に相当します<sup>4</sup>。株主還元率は、2024年度の1.05十億ユーロの自己株式取得プログラム<sup>5</sup>の実施により、2023年度の配当可能純利益の60%に引き上げられます。

当グループは、内部統制体制の強化を継続しました。

2023年度第4四半期において、営業収益は10,898百万ユーロ（前年同期は10,885百万ユーロ）でした。これは、2022年度第4四半期に欧州中央銀行が決定したTLTROの条件変更に伴う一時的な影響（-47百万ユーロ）を反映したものでした。

この一時的な影響および追加調整（8百万ユーロ）を除外すると、分配可能純利益を算出するための調整を行った営業収益は、0.6%増加し、10,953百万ユーロとなりました。

事業部門の営業収益は、1.6%減（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-0.6%）でした。CIB部門の営業収益は、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含むと2.6%減で、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くとほぼ横ばい（-0.4%）でした。グローバル・バンキング事業の営業収益は、非常に高水準であった前年同期と比較して増加しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+4.1%）。証券管理事業の営業収益は、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと1.8%増でした。グローバル・マーケット事業の営業収益は、顧客取引のさらなる正常化により、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと5.5%減でした。CPBS部門の営業収益<sup>6</sup>は、2.0%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+2.4%）でした。これは、コマース&

<sup>1</sup> 資本要求指令5（CRD5）。国際財務報告基準（IFRS）第9号経過規定を含む

<sup>2</sup> 規則（EU）2019/876に従って算定

<sup>3</sup> 再評価後

<sup>4</sup> TSSDI（永久最劣後債）に係る配当を考慮後

<sup>5</sup> ECBの認可等、通常の前提条件を満たした場合

<sup>6</sup> プライベートバンキングの100%を含む（フランスのPEL/CELの影響を除く）





個人向けバンキング事業 (+2.8%) および専門的金融事業 (+0.7%) における増加によるものでした。IPS部門の営業収益は、不動産管理事業における現在の景気後退およびプリンシパル・インベストメンツにおけるベース効果による影響を受け、12.9%減（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-12.8%）でした。不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツの寄与を除くと、1.5%減で減少幅は小さく、アセット・マネジメント事業<sup>1</sup>の大幅な増収が貢献しました。

グループ全体の営業費用は、7,783百万ユーロ（前年同期は7,471百万ユーロ）となりました。営業費用には、一時項目による影響として、事業再編費用と事業適応費用（54百万ユーロ）およびIT強化費用（119百万ユーロ）による合計174百万ユーロ（前年同期は188百万ユーロ）が反映されていました。当四半期の営業費用には、英国銀行税（201百万ユーロ）および事業適応費用全般（40百万ユーロ）による一時的影響が反映されていました。

分配可能純利益を算出するための調整を行った営業費用は、英国銀行税、事業適応費用全般および追加調整（3百万ユーロ）の一時的影響を考慮後、7,545百万ユーロとなりました。その結果、1.0%増加しました。

事業部門の営業費用は、1.6%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+2.5%）でした。CIB部門の営業費用は抑制され、0.5%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+2.5%）でした。CPBS部門の営業費用<sup>2</sup>は、4.2%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+4.4%）でした。IPS部門の営業費用は、5.3%減（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-5.2%）でした。

以上から、グループ全体の営業総利益は、3,115百万ユーロ（前年同期は3,414百万ユーロ）となりました。

分配可能純利益を算出するための調整を行ったグループ全体の営業総利益は、3,409百万ユーロとなり、ほぼ横ばい（-0.2%）でした。

グループ全体のリスク費用は、972百万ユーロ<sup>3</sup>（前年同期は697百万ユーロ）となりました。当四半期のリスク費用は、売却目的で保有する不良債権ポートフォリオに対する引当金による影響を受けました。この影響（8ベースポイント）を除外すると、リスク費用は顧客向け融資残高の35ベースポイント相当になりました。前年同期のリスク費用には、欧州の基準に合わせるための方法変更に伴い、正常債権（ステージ1および2）に対する引当金の戻入251百万ユーロが含まれていました。

金融商品に係るリスクに関するその他の純損失、すなわち金融商品の無効または執行不能のリスクに関連する費用は、645百万ユーロとなりました。当四半期において、ポーランドの住宅ローンに対する引当金（320百万ユーロ）、パーソナル・ファイナンスに関連する訴訟引当金（221百万ユーロ）および債権に係るリスクに対する引当金（104百万ユーロ）による一時的影響が反映されています。金融商品に係るリスクに関するその他の純損失は、特別損益項目とみなされ、したがって、分配可能純利益を算出する際は除外されています。

グループ全体の営業利益は、1,498百万ユーロ（前年同期は2,717百万ユーロ）となりました。

当グループの分配可能純利益を算出するための調整を行ったグループ全体の営業利益は、2,436百万ユーロとなり、10.3%減でした。

グループ全体の営業外項目は、-22百万ユーロ（前年同期は72百万ユーロ）となりました。当四半期の営業外項目には、保険事業の売却に伴う一時的影響（-87百万ユーロ）および売却に伴う譲渡益（+91百万ユーロ）が反映されています。

グループ全体の税引前利益は、1,476百万ユーロ（前年同期は2,790百万ユーロ）となりました。これは、マイナスの特別損益項目、特にパーソナル・ファイナンスおよびポーランドの住宅ローン・ポートフォリオに関連する訴訟引当金により、大きな影響を受けました。これらの特別損益項目は、そのマイナス影響を吸収し、当グループの本源的業績を反映するために分配可能純利益から除外されています。

<sup>1</sup> 不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツを除く

<sup>2</sup> プライベートバンキングの100%を含む（フランスのPEL/CELの影響を除く）

<sup>3</sup> 注：リスク費用には、金融商品に係るリスクに関するその他の純損失は含まない



分配可能純利益を算出するための調整を行ったグループ全体の税引前利益は、**2,414**百万ユーロ（前年同期は2,790百万ユーロ）となりました。2023年度第3四半期累計期間（1-9月）の分配可能純利益は、特別損益項目の通期の影響を反映するために修正再表示され（2024年1月31日付発表を参照）、修正再表示後は**9,225**百万ユーロとなりました（修正再表示前は**8,810**百万ユーロ）。

当グループは、2023年2月1日にBank of the Westの売却を完了しました。2021年12月20日に発表された当該取引の条件は、売却目的で保有する資産および負債のグループに関してIFRS第5号の適用範囲に該当します。IFRS第5号に従い、前年同期における売却目的保有事業の純利益は、**185**百万ユーロとなりました。

以上から、当グループの純利益は、**1,069**百万ユーロとなりました。前年同期は2,142百万ユーロ（非継続事業の純利益を除くと、**1,957**百万ユーロ）でした。

2023年2月の発表に従い、当年度における当グループの純利益には、当グループの分配可能純利益を算出するための調整が行われています。したがって、これは、Bank of the Westの売却後および単一破綻処理基金の増額への拠出の終了後の当グループの本源的業績を反映したものであり、これにより、特別損益項目によるマイナス影響を吸収することができました。その結果、当四半期における当グループの分配可能純利益は、非継続事業の純利益を除くと、**2.6%**増の**2,007**百万ユーロとなりました。

\*

\* \*





## ホールセールバンキング (CIB) 部門

**2023年度通期において、CIB部門は、EMEA地域において欧州と拠点とするCIBとして主導しており、顧客にサービスを提供する3つの強力なフランチャイズを基盤とする多角的なビジネスモデルを背景に市場シェアを拡大しています<sup>1</sup>。CIB部門の世界市場でのシェア<sup>2</sup>は、2022年12月31日以降、10ベースポイント上昇しました。**

ファイナンス事業における顧客取引は、特に米州およびEMEA地域において非常に良好な水準でした。株式市場における取引は、特にエクイティデリバティブおよびプライムブローカー業務において維持され、クレジット市場では需要が大幅に増加しました。金利市場、為替市場およびコモディティ市場では環境がさらに正常化しました。証券管理事業の事業活動は、引き続き堅調で、年度末における市場の回復に伴い平均資産残高も増加しました。

**CIB部門の営業収益は、16,509百万ユーロとなり、0.6%増 (+2.0%<sup>3</sup>) でした。グローバル・バンキング事業が非常に堅調な伸びを示し (+14.5%<sup>3</sup>)、証券管理事業においても伸びを示し (+5.6%<sup>3</sup>)、グローバル・マーケット事業の回復力が好調であったこと (-6.5%<sup>3</sup>) が寄与しました。**

**グローバル・バンキング事業の営業収益は、5,822百万ユーロとなり、12.4%増 (連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+14.5%) の大幅増収で、特に米州およびEMEA地域における力強い伸びにより、3つの地域すべてにおいて増加しました<sup>3</sup>。トランザクションバンキング業務では、特にEMEA地域において取引が大幅に増加し (+56.4%<sup>3</sup>)、キャピタルマーケット事業のプラットフォームにおける営業収益が、特に米州およびEMEA地域において大幅に増加しました。アドバイザリー業務は、急激に低迷した市場において、進展しました<sup>3</sup>。**

**グローバル・マーケット事業の営業収益は、7,996百万ユーロとなり、7.4%減 (連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-6.5%) でした。FICC事業<sup>4</sup>の営業収益は5,138百万ユーロとなり、11.2%減<sup>5</sup> でした。クレジット業務は非常に好調であったものの、高水準であった前年度と比較してEMEA地域における金利、為替、さらにはコモディティの取引がさらに正常化したことにより、相殺されました。株式・プライムサービス事業の営業収益は、0.3%増<sup>5</sup>の2,858百万ユーロとなり、エクイティデリバティブおよびプライムブローカー業務における取引に支えられ、好調な業績を達成しました。**

**証券管理事業の営業収益は、2,691百万ユーロとなり、4.1%増 (連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+5.6%) でした。その要因は、金利環境による好影響および平均資産残高の増加による影響でした。取引高は、ボラティリティがより緩やかになったため、減少しました。**

**CIB部門の営業費用は、10,823百万ユーロとなり、1.2%増 (連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+2.9%) でした。ジョーズ効果は、グローバル・バンキング事業では極めて高水準で、証券管理事業でもプラスでした。**

これらを受けて、**CIB部門の営業総利益は、0.5%減 (連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+0.4%) の5,686百万ユーロとなりました。**

**CIB部門では、63百万ユーロのリスク費用の戻入が行われました。グローバル・バンキング事業では、74百万ユーロの戻入が行われ、リスク費用は顧客向け融資残高の-4ベースポイント相当となりました。これには、正常債権 (ステージ1および2) に対する引当金の戻入が含まれます。不良債権 (ステージ3) に対するリスク費用は、低い水準でした。**

以上から、**CIB部門の税引前利益は、5,744百万ユーロに達し、6.4%増 (連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+7.1%) の大幅増益でした。**

<sup>1</sup> 出所：Coalition Greenwich 3Q23 YTD Competitor Analytics、ランキングはCoalition Greenwich Indexの銀行およびBNPパリバの商品範囲に基づく。EMEA：欧州、中東、アフリカ

<sup>2</sup> 出所：BNPパリバの営業収益 (公表額)。Coalition Greenwich Competitor Analyticsは、BNPパリバの商品範囲に基づく。市場シェアは、BNPパリバの営業収益 (公表額) を業界全体の営業収益で除して算出されている

<sup>3</sup> 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

<sup>4</sup> Fixed Income, Currency, and Commodities (債券、為替、コモディティ)

<sup>5</sup> 注：2023年12月11日に修正再表示を公表



**2023年度第4四半期において、CIB部門の営業収益は、2.6%減の3,742百万ユーロとなり、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くとほぼ横ばい(-0.4%)でした。グローバル・マーケット事業の減収(-5.5%<sup>1</sup>)にもかかわらず、グローバル・バンキング事業の営業収益が非常に高水準であった前年同期と比較して増加したこと(+4.1%<sup>1</sup>)および証券管理事業(+1.8%<sup>1</sup>)が寄与しました。**

**グローバル・バンキング事業の営業収益は、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含むと1.7%増(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+4.1%)の1,538百万ユーロとなりました。キャピタルマーケット事業のプラットフォームにおける営業収益が、特に米州において大幅に増加したこと、またトランザクションバンキング業務の取引が、特にEMEA地域においてさらに増加したことが寄与しました。**

**グローバル・マーケット事業の営業収益は、1,519百万ユーロとなり、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含むと8.0%減(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-5.5%)でした。FICC事業<sup>2</sup>の営業収益は、861百万ユーロとなり、高水準であった前年同期比では31.7%減でした。これは、金利商品およびコモディティの取引が急激に減少したことに伴うもので、クレジット業務の急増により一部相殺されました。株式・プライムサービス事業<sup>2</sup>の営業収益は、658百万ユーロとなり、エクイティデリバティブおよびプライムブローカー業務における取引の好調により、69.0%増の大幅増収でした。**

市場リスクの尺度である平均バリュアード・アット・リスク(VaR。保有期間1日、信頼区間99%)は、エクスポージャー(特に金利エクスポージャー)の慎重な管理により、低水準で推移し、28百万ユーロとなりました。

**証券管理事業の営業収益は、684百万ユーロとなり、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含むと、高水準であった前年同期比0.9%増(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+1.8%)でした。その要因は、金利環境による好影響および平均資産残高の増加でしたが、取引高の減少により一部相殺されました。**

**CIB部門の営業費用は、2,740百万ユーロとなり、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含むと0.5%増(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+2.5%)でした。ジョーズ効果は、グローバル・バンキング事業および証券管理事業ではプラスでした。**

**CIB部門の営業総利益は、1,002百万ユーロとなり、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含むと10.1%減(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-7.7%)でした。**

**CIB部門のリスク費用は、62百万ユーロ(前年同期は157百万ユーロ)となり、グローバル・バンキング事業のリスク費用は、不良債権(ステージ3)に対する引当金および正常債権(ステージ1および2)に対する引当金の戻入に伴い、58百万ユーロとなりました。リスク費用は、顧客向け融資残高の13ベースポイント相当となりました。**

**以上から、CIB部門の税引前利益は、955百万ユーロに達し、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含むと0.3%増(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+3.9%)でした。**

\*  
\* \*

<sup>1</sup> 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

<sup>2</sup> 注：2023年12月11日に修正再表示を公表



## コマーシャル&個人向けバンキングサービス (CPBS) 部門

**2023年度通期**において、欧州の法人顧客セグメントおよびプライベートバンキング顧客セグメントならびに専門的金融事業における多角化と強固なポジションにより、CPBS部門では、パーソナル・ファイナンスの事業再構築の影響および年度後半に欧州の公的機関が下した決定（特に法定準備金やベルギー国債発行に関するもの）の影響にもかかわらず、取引が増加しました。

融資残高は、前年度比2.9%増で、ユーロ圏のコマーシャル&個人向けバンキング事業では微増 (+0.8%) となり、専門的金融事業では大幅な増加 (+11.3%) となりました。ベルギー国債の影響を除くと、ユーロ圏のコマーシャル&個人向けバンキング事業の預金残高は、前年度比1.6%減でしたが、当四半期において前四半期比では横ばいでした。プライベートバンキングへの当年度の資金純流入は好調で、12.5十億ユーロ（年初運用資産残高の5.0%）に達しました。Hello bank!は引き続き顧客を獲得し、当年度には463,000人の新規顧客を獲得し（2022年12月31日現在と比較して+35.7%）<sup>1</sup>、Nickelにおける口座開設は好調なペースで進みました（2022年12月31日現在と比較して+22.8%）。

営業収益<sup>2</sup>は、26,627百万ユーロとなり、4.3%増でした。その要因は、コマーシャル&個人向けバンキング事業における増収 (+4.6%)、正味利息収益の増加 (+8.0%) および専門的金融事業における増収 (+3.8%、パーソナル・ファイナンスを除くと+13.8%) でした。

営業費用<sup>2</sup>は、3.5%増の16,437百万ユーロでした。ジョーズ効果はプラス (+0.8ポイント) で、コマーシャル&個人向けバンキング事業 (+2.1ポイント) およびアルバルとリーシング・ソリューションズ (+4.9ポイント) に牽引されました。

これらを受けて、営業総利益<sup>2</sup>は、10,191百万ユーロとなり、5.6%増でした。

リスク費用<sup>2</sup>は、2,923百万ユーロ（前年度は2,491百万ユーロ）でした。前年度は、欧州の基準に合わせるための方法変更に伴う引当金の戻入（フランスのコマーシャル・バンキングにおいて163百万ユーロ）を計上していました<sup>3</sup>。

金融商品に係るリスクに関するその他の純損失は、当年度においてゼロでした。

以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後のCPBS部門の税引前利益<sup>4</sup>は、主にトルコのハイパーインフレ<sup>5</sup>の影響により、2.6%減の7,095百万ユーロ（前年度比-250百万ユーロ）となりました。

<sup>1</sup> イタリアを除く

<sup>2</sup> プライベートバンキングの100%を含む（フランスのPEL/CELの影響を除く）

<sup>3</sup> 注：リスク費用には、「金融商品に係るリスクに関するその他の純損失」は含まない（次ページの2023年度第4四半期を参照）

<sup>4</sup> プライベートバンキングの3分の2を含む（フランスのPEL/CELの影響を除く）

<sup>5</sup> トルコにおけるIAS第29号の適用および（CPI連動債による）ヘッジ効率の影響



**2023年度第4四半期において、営業収益<sup>1</sup>は、6,425百万ユーロとなり、前年同期比2.0%増でした。その要因は、コマーシャル&個人向けバンキング事業の好調な業績（+2.8%）、正味利息収益の増加（+5.4%）およびアルバルとリーシング・ソリューションズの好調な業績（+2.9%）でした。パーソナル・ファイナンスの営業収益は、ほぼ横ばい（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-0.6%）で、ニューデジタル事業と個人投資家事業の営業収益は、8.3%増加しました。**

**営業費用<sup>1</sup>は、4,128百万ユーロとなり、4.2%増でした。**

**営業総利益<sup>1</sup>は、2,297百万ユーロとなり、1.6%減でした。**

**リスク費用<sup>1</sup>は、908百万ユーロ（前年同期は600百万ユーロ）<sup>2</sup>となり、特に当四半期における売却目的で保有する不良債権ポートフォリオに対する引当金および前年同期における欧州の基準に合わせるための方法変更に伴う163百万ユーロの戻入に関連するベース効果により増加しました。**

ポーランドの住宅ローンに関する訴訟に対する特別引当金は、修正再表示され、「金融商品に係るリスクに関するその他の純損失」<sup>3</sup>に計上されています。「金融商品に係るリスクに関するその他の純損失」には、2023年度第1四半期および第2四半期に欧州・地中海沿岸諸国に計上されていた引当金について、コーポレート・センターへの分類変更に伴い、当四半期において130百万ユーロの戻入が計上されました。修正再表示後、2023年度第1四半期の50百万ユーロの引当金および2023年度第2四半期の80百万ユーロの引当金が反映されています。

以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後の**CPBS部門の税引前利益<sup>4</sup>は、特に売却目的で保有する不良債権ポートフォリオに対する引当金によるリスク費用の増加に伴い、14.6%減の1,414百万ユーロとなりました。**

<sup>1</sup> プライベートバンキングの100%を含む（フランスのPEL/CELの影響を除く）

<sup>2</sup> 注：リスク費用には、「金融商品に係るリスクに関するその他の純損失」は含まない

<sup>3</sup> 「金融商品に係るリスクに関するその他の純損失」には、金融商品の無効または執行不能のリスクに関連する費用が含まれ、リスク費用とは区別される

<sup>4</sup> プライベートバンキングの3分の2を含む（フランスのPEL/CELの影響を除く）





## フランスのコマーシャル&個人向けバンキング (CPBF)

**2023年度通期において**、融資残高は、すべての顧客セグメントにおいて増加（前年度比+1.2%）し、利鞘の調整も続きました。預金残高は、前年度比2.7%減でしたが、徐々に横ばいとなり（2023年9月30日から2023年12月31日の期間に-0.6%）、年度後半には法人顧客からの預金残高が増加しました（2023年9月末から12月末の期間に+1.9%）。オフバランス貯蓄商品は、2022年12月31日現在と比較して5.9%増で、生命保険への資金純流入は高水準（当年度において+1.6十億ユーロ、前年度比+8.5%）でした。プライベートバンキングへの資金純流入は、4.6十億ユーロと好調でした。

**営業収益<sup>1</sup>**は、6,593百万ユーロとなり、0.6%減でした。正味利息収益は、0.7%減（インフレ・ヘッジの影響を除くと+2.2%）でした。手数料は、キャッシュマネジメントの好調な業績および決済手数料に支えられ、ほぼ横ばい（前年度比-0.5%）となりました。

**営業費用<sup>1</sup>**は、4,749百万ユーロとなり、1.1%増でした。

**営業総利益<sup>1</sup>**は、1,844百万ユーロとなり、4.8%減でした。

**リスク費用<sup>1</sup>**は、485百万ユーロ（前年度は237百万ユーロ）で、顧客向け融資残高の21ベースポイント相当でした。前年度には、欧州の基準に合わせるための方法変更の影響に伴い、引当金の戻入（-163百万ユーロ）が計上されました。

以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後の**CPBFの税引前利益<sup>2</sup>**は、1,193百万ユーロに達し、23.9%減でした。

**2023年度第4四半期において**、**営業収益<sup>1</sup>**は、3.5%減少し、1,605百万ユーロとなりました。正味利息収益は、4.6%減少しましたが、インフレ・ヘッジの影響を除くと増加しました（当四半期は-21百万ユーロ）。手数料は、金融手数料の減少により2.1%減少しましたが、決済手数料およびキャッシュマネジメント手数料の増加により一部相殺されました。**営業費用<sup>1</sup>**は、コスト節減策により抑制され、1.3%増の1,226百万ユーロでした。**営業総利益<sup>1</sup>**は、379百万ユーロとなり、16.3%減でした。**リスク費用<sup>1</sup>**は、142百万ユーロ（前年同期は21百万ユーロ）でした。リスク費用は低水準でしたが、売却目的で保有する不良債権ポートフォリオに対する引当金による影響を受けました。前年同期には、欧州の基準に合わせるための方法変更に伴い正常債権（ステージ1および2）に対する引当金の多額の戻入（-163百万ユーロ）が計上されました。リスク費用は、顧客向け融資残高の25ベースポイント相当でした。以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後の**CPBFの税引前利益<sup>2</sup>**は、195百万ユーロとなり、54.0%減でした。これは特に、前年同期における方法変更に伴うリスク費用の増加、および売却目的で保有する不良債権ポートフォリオに対する引当金の影響によるものでした。

<sup>1</sup> プライベートバンキングの100%を含む（PEL/CELの影響を除く）

<sup>2</sup> プライベートバンキングの3分の2を含む（PEL/CELの影響を除く）

**BNLバンカ・コメルシアーレ (BNL bc)**

**2023年度通期において**、融資残高は、前年度比**4.4%**減となり、不良債権を除くと**3.0%**減となりました。個人向け貸出は持ちこたえ、法人向け貸出残高は減少しました。競争環境の中で、組成時の利鞘の管理は規律正しく行われました。預金残高は、前年度比**0.3%**増で堅調に回復し（前四半期比**+3.7%**）、特に年度後半には利鞘が着実に改善しました。オフバランス貯蓄商品は、**2022年12月31日**現在と比較して**7.7%**減でした。プライベートバンキングへの資金純流入は、非常に好調（**2.8**十億ユーロ）でした。

**営業収益<sup>1</sup>**は、**3.5%**増加し、**2,727**百万ユーロとなりました。正味利息収益<sup>1</sup>は、**6.6%**増加し、当四半期に加速しました。これは、預貸利鞘により牽引されましたが、取引高の減少および融資コストの増加により一部相殺されました。手数料は減少しましたが（**-0.6%**）、これは金融手数料が減少したものの、銀行手数料の堅調な回復によるものでした。

**営業費用<sup>1</sup>**は、**1,804**百万ユーロとなり、**4.0%**増でした。これは、主としてインフレの影響によるものでした。

**営業総利益<sup>1</sup>**は、**2.7%**増の**923**百万ユーロとなりました。

**リスク費用<sup>1</sup>**は、**410**百万ユーロとなり、リスクプロファイルの着実な改善により、**55**百万ユーロの改善となりました。リスク費用は、顧客向け融資残高の**53**ベースポイント相当でした。

以上から、プライベートバンキング業務の純利益の**3分の1**をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後のBNL bcの**税引前利益<sup>2</sup>**は、**488**百万ユーロに達し、**18.8%**増の大幅な増益でした。

**2023年度第4四半期において**、**営業収益<sup>1</sup>**は、**7.4%**増加し、**704**百万ユーロとなりました。正味利息収益は、**13.2%**増でした。これは、利鞘の維持と預金残高によるものでしたが、預貸利鞘が徐々に改善したにもかかわらず、ローン取扱高の減少により一部相殺されました。法人顧客における営業収益は、エネルギー移行支援に関連して、当四半期においても引き続き増加しました。手数料は、銀行手数料の増加に支えられ、ほぼ横ばい（**-0.1%**）でした。**営業費用<sup>1</sup>**は、**9.2%**増の**465**百万ユーロとなりました。この増加は、現地の貸金交渉の遡及効果（**2023年7月1日**まで遡及適用）により増幅しました。これらを受けて、**営業総利益<sup>1</sup>**は、**4.1%**増の**239**百万ユーロとなりました。**リスク費用<sup>1</sup>**は、**133**百万ユーロでした。リスク費用は、当四半期における売却目的で保有する不良債権ポートフォリオに対する引当金による影響を除くと、低水準でした。この当四半期の影響を除くと、不良債権（ステージ3）のリスク費用は減少しました。この影響を除くと、リスク費用は顧客向け融資残高の**50**ベースポイントを下回ります（この影響を考慮した場合は**72**ベースポイント相当）。以上から、プライベートバンキング業務の純利益の**3分の1**をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後のBNL bcの**税引前利益<sup>2</sup>**は、**100**百万ユーロに達し、**9.6%**減でした。

<sup>1</sup> プライベートバンキングの100%を含む

<sup>2</sup> プライベートバンキングの3分の2を含む



## ベルギーのコマーシャル&個人向けバンキング (CPBB)

**2023年度通期**において、融資残高は、すべての顧客セグメントでの増加により、前年度比3.2%増となりました。預金残高は、前年度比2.0%減（2024年9月に満期となるベルギー国債の発行による影響を除くと-0.5%<sup>1)</sup>）でした。オフバランス貯蓄商品は、ミューチュアル・ファンドに牽引され、2022年12月31日現在と比較して4.1%増でした。プライベートバンキングへの資金純流入は、2.0十億ユーロと好調でした。

**営業収益<sup>2)</sup>**は、6.0%増の3,990百万ユーロと大幅に増加しました。正味利息収益<sup>2)</sup>は、リファイナンス費用が増加し、当四半期においてベルギー国債の発行によるマイナス影響があったにもかかわらず、預貸利鞘を維持したことにより、9.5%増と大幅に増加しました。手数料<sup>2)</sup>は、銀行手数料の減少が金融手数料の増加により一部相殺されたため、2.0%減となりました。

**営業費用<sup>2)</sup>**は、4.7%増の2,739百万ユーロとなりました。ジョーズ効果は、営業費用が抑制されたことによりインフレの影響が一部相殺され、プラス (+1.3ポイント) でした。

**営業総利益<sup>2)</sup>**は、8.9%増の1,251百万ユーロと大幅に増加しました。

**リスク費用<sup>2)</sup>**は、86百万ユーロ（前年度は36百万ユーロ）となり、顧客向け融資残高の6ベースポイント相当の低水準にとどまりました。

以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後のCPBBの**税引前利益<sup>3)</sup>**は、1,091百万ユーロに達し、4.0%増の大幅な増益でした。

**2023年度第4四半期**において、**営業収益<sup>2)</sup>**は、0.7%増の954百万ユーロとなりました。正味利息収益は、リファイナンス費用が増加し、当四半期においてベルギー国債の発行によるマイナス影響があったにもかかわらず、貸出残高の増加の影響により一部相殺され、預貸利鞘を維持したことにより、4.0%増加しました。手数料は、金融手数料の増加がその他の手数料の減少により相殺されたため、7.3%減でした。**営業費用<sup>2)</sup>**は、6.0%増の635百万ユーロとなりました。これは、インフレによるもので、コスト節減により一部相殺されました。当四半期におけるベルギー国債の発行による営業収益への影響を除くと、ジョーズ効果はプラス (+0.7ポイント) でした。**営業総利益<sup>2)</sup>**は、8.4%減の319百万ユーロとなりました。**リスク費用<sup>2)</sup>**は、37百万ユーロとなり、顧客向け融資残高の10ベースポイント相当と極めて低い水準でした。以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後のCPBBの**税引前利益<sup>3)</sup>**は、267百万ユーロに達し、11.9%減でした。

<sup>1)</sup> オフバランス顧客資産に含まれるがオフバランス貯蓄商品には含まれない証券口座の残高増加（期末において+5.1十億ユーロ）により相殺された-6.9十億ユーロの期末預金残高の影響

<sup>2)</sup> プライベートバンキングの100%を含む

<sup>3)</sup> プライベートバンキングの3分の2を含む



## ルクセンブルクの商業&個人向けバンキング (CPBL)

**2023年度通期**において、融資残高は、1.3%増加し、すべての顧客セグメントで増加しました。預金残高は、4.2%減少しました。

**営業収益<sup>1</sup>**は、592百万ユーロとなり、24.7%増と大幅に増加しました。正味利息収益<sup>1</sup>は、特に法人顧客の預貸利鞘を維持したことに加え、融資残高が増加したことにより、31.6%増と大幅に増加しました。手数料<sup>1</sup>は、高水準であった前年度と比較して1.7%減少しました。

**営業費用<sup>1</sup>**は、302百万ユーロとなり、9.8%増加しました。ジョーズ効果は極めて高水準 (+14.9ポイント) でした。

**営業総利益<sup>1</sup>**は、290百万ユーロとなり、45.3%増と大幅な増益でした。

**リスク費用<sup>1</sup>**は、8百万ユーロと極めて低い水準でした。

以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業 (IPS部門) へ配分した後のCPBLの**税引前利益<sup>2</sup>**は、281百万ユーロに達し、30.3%増と大幅に増加しました。

**2023年度第4四半期**において、**営業収益<sup>1</sup>**は、前年同期比15.3%増と大幅に増加し、150百万ユーロに達しました。正味利息収益は、特に法人顧客の預貸利鞘を維持したことにより、19.2%増と大幅に増加しました。手数料は、1.4%減少しました。**営業費用<sup>1</sup>**は、74百万ユーロとなり、10.2%増加しました。**営業総利益<sup>1</sup>**は、76百万ユーロとなり、20.6%増と大幅な増益でした。リスク費用<sup>1</sup>は、2百万ユーロと極めて低い水準でした。以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業 (IPS部門) へ配分した後のCPBLの**税引前利益<sup>2</sup>**は、78百万ユーロに達し、10.6%増と大幅に増加しました。

## 欧州・地中海沿岸諸国

**2023年度通期**において、融資残高は、前年度比2.2%増<sup>3</sup>でした。対象を絞ったローン組成は、トルコおよびポーランドにおいて、特に個人顧客向けに慎重に行われました。預金残高は、前年度比8.1%増<sup>3</sup>で、すべての国において増加しました。

**営業収益<sup>1</sup>**は、特にポーランドで正味利息収益が堅調に増加したことにより2,687百万ユーロとなり、19.4%増<sup>4</sup>と大幅に増加しました。

**営業費用<sup>1</sup>**は、高インフレにより、1,666百万ユーロとなり、5.6%増加<sup>4</sup>しました。

**営業総利益<sup>1</sup>**は、1,021百万ユーロに達し、51.9%増<sup>4</sup>と大幅な増益でした。

**リスク費用<sup>1</sup>**は、44百万ユーロ (前年度は153百万ユーロ) となり、顧客向け融資残高<sup>5</sup>の13ベースポイント相当でした。金融商品に係るリスクに関するその他の純損失は、当年度においてゼロでした。

トルコのハイパーインフレ<sup>6</sup>により、「その他の営業外項目」は前年度と比較して212百万ユーロ減少しました。

以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業 (IPS部門) へ配分した後の欧州・地中海沿岸諸国の**税引前利益<sup>2</sup>**は、1,030百万ユーロに達し、23.2%増<sup>4</sup>と大幅に増加しました。

<sup>1</sup> プライベートバンキングの100%を含む

<sup>2</sup> プライベートバンキングの3分の2を含む

<sup>3</sup> 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

<sup>4</sup> 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く。ただし、トルコについてはIAS第29号により、為替レート変動による影響を含む

<sup>5</sup> ポーランドの住宅ローンに対する特別引当金は、コーポレート・センターにおいて「金融商品に係るリスクに関するその他の純損失」に計上されているため (450百万ユーロ)、欧州・地中海沿岸諸国のリスク費用には影響しない (次ページの2023年度第4四半期を参照)

<sup>6</sup> トルコにおけるIAS第29号の適用および (CPI連動債による) ヘッジ効率の影響





**2023年度第4四半期において**、欧州・地中海沿岸諸国の**営業収益<sup>1</sup>**は、特にポーランドにおいて正味利息収益が大幅に増加したことに関連して、**627百万ユーロ**となり、**21.1%増<sup>2</sup>**と大幅に増加しました。**営業費用<sup>1</sup>**は、高インフレにより、**431百万ユーロ**となり、**6.8%増加<sup>2</sup>**しました。ジョーズ効果はプラスでした。営業総利益<sup>1</sup>は、**196百万ユーロ**となり、**71.8%増<sup>2</sup>**と大幅な増益でした。**リスク費用<sup>1</sup>**は、**19百万ユーロ<sup>3</sup>**となり、顧客向け融資残高の**23**ベースポイント相当と低水準でした。ポーランドの住宅ローンに関する訴訟に対する特別引当金は、修正再表示され、「金融商品に係るリスクに関するその他の純損失」<sup>4</sup>に計上されています。当四半期において、「**金融商品に係るリスクに関するその他の純損失**」に**130百万ユーロ**の戻入が計上されました。これは、コーポレート・センターにおける「金融商品に係るリスクに関するその他の純損失」の分類変更に関連しており、当該項目には、修正再表示後、**2023年度第1四半期の50百万ユーロ**の引当金および**2023年度第2四半期の80百万ユーロ**の引当金が反映されています。トルコのハイパーインフレ<sup>5</sup>により、「その他の営業外項目」は減少しました（前年同期比**-77百万ユーロ**）。以上から、プライベートバンキング業務の純利益の**3分の1**をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後の欧州・地中海沿岸諸国の**税引前利益<sup>6</sup>**は、**280百万ユーロ**（前年同期は**120百万ユーロ**）に達しました。当第4四半期におけるポーランドの引当金の戻入がなければ、税引前利益は**15.2%減<sup>2</sup>**となっていました。

## 専門的金融事業—パーソナル・ファイナンス

**2023年度通期において**、パーソナル・ファイナンスは、事業の転換を継続しました。事業活動の地理的な重点地域の転換およびオペレーティングモデルの再編成は順調に進んでいます。特に中欧の7つの事業体が、売却またはランオフ化されました。新たな自動車ローンのパートナーシップの影響は続き、取扱高の増加およびリスクプロファイルの構造的改善に貢献しました。融資残高は、特にモビリティ部門の堅調な伸びに牽引され、前年度と比較して**10.1%増加**しました。ローン組成は、より厳選されるようになりました。組成時の利鞘は、上昇圧力にもかかわらず、引き続き改善しました。

**営業収益**は、**5,163百万ユーロ**となり、**4.2%減**（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**-3.1%**）でした。これは、取引高が増加したにもかかわらず、利鞘への圧力がかかったことおよびファイナンス費用が増加したことによるものでした。

**営業費用**は、目標を絞った開発プロジェクトに関連して、**2,998百万ユーロ**となり、**2.6%増加**しました。

**営業総利益**は、**12.2%減少**し、**2,164百万ユーロ**となりました。

**リスク費用**は、**1,600百万ユーロ**（前年度は**1,373百万ユーロ**）となり、顧客向け融資残高の**155**ベースポイント相当でした。リスク費用は、現在の景気後退の影響にもかかわらず、リスクプロファイルの構造的改善を背景に低水準にとどまっています。

以上から、パーソナル・ファイナンスの**税引前利益**は、営業総利益の減少およびリスク費用への現在の景気後退の影響により、**630百万ユーロ**となり、**43.8%減少**しました。

**2023年度第4四半期において**、営業収益は、**1,256百万ユーロ**となり、**2.1%減**（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**-0.6%**）でした。ファイナンス費用の増加および利鞘への圧力は徐々に改善しつつあるものの、これらにより、特にモビリティ部門における融資残高の増加の影響は一部相殺されました。**営業費用**は、**742百万ユーロ**となり、**0.4%増**（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**+1.6%**）でしたが、かかる増加はコスト節減策の効果により抑制されました。**営業総利益**は、**5.5%減少**し、**514百万ユーロ**となりました。**リスク費用**は、**482百万ユーロ**（前年同期は**413百万ユーロ**）となりました。リスク費用は、売却目的で保有する不良債権ポートフォリオに対する引当金および正常債権（ステージ1および2）に対する引当金の影響を除くと、ほとんど変動はありませんでした。これらの影響を加味した場合、

<sup>1</sup> プライベートバンキングの100%を含む

<sup>2</sup> 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く。ただし、トルコについてはIAS第29号により、為替レート変動による影響を含む

<sup>3</sup> 注：リスク費用には、金融商品に係るリスクに関するその他の純損失は含まない

<sup>4</sup> 「金融商品に係るリスクに関するその他の純損失」には、金融商品の無効または執行不能のリスクに関連する費用が含まれ、リスク費用とは区別される

<sup>5</sup> トルコにおけるIAS第29号の適用および（CPI連動債による）ヘッジ効率の影響

<sup>6</sup> プライベートバンキングの3分の2を含む



リスク費用は顧客向け融資残高の179ベースポイント相当でした。以上から、パーソナル・ファイナンスの税引前利益は、21百万ユーロとなり、81.2%減少しました。これは主に、営業総利益の減少およびリスク費用への現在の景気後退の影響によるものでした。

## 専門的金融事業—アルバルとリーシング・ソリューションズ

**2023年度通期において**、アルバルのファイナンスフリートの契約台数は大幅に増加し（前年度比+6.9%）、契約台数は1.7百万台<sup>1</sup>に上りました。納期短縮を背景に、販売台数への影響は良好でした（前年度の低水準と比較して、当年度は342,000台を販売しました。）。

リーシング・ソリューションズのファイナンスリース残高は、23.5十億ユーロで、前年度比4.4%増でした。事業活動は好調で、生産量は前年度比4.3%増でした。

営業収益は、3,869百万ユーロとなり、12.5%増の大幅な増収でした。これは、中古車価格が高水準ながら徐々に正常化したにもかかわらず、ファイナンスフリート残高および販売台数の伸びに支えられ、アルバルの営業収益の大幅増収（前年度比+16.8%）に牽引されました。リーシング・ソリューションズの営業収益は、ファイナンスフリート残高の増加に伴い増収となりました。

営業費用は、1,501百万ユーロとなり、7.6%増加しました。ジョーズ効果はプラス（+4.9ポイント）でした。

以上から、アルバルとリーシング・ソリューションズの税引前利益は、2,188百万ユーロとなり、11.8%増の大幅な増益でした。

**2023年度第4四半期において**、アルバルとリーシング・ソリューションズの営業収益は、883百万ユーロとなり、2.9%増加しました。これは、中古車価格が高水準ながら徐々に正常化したことによるアルバルの営業収益の緩やかな増加、およびリーシング・ソリューションズの営業収益が増加したことによるものでした。営業費用は、373百万ユーロとなり、7.6%増加しました。営業総利益は、0.3%減の510百万ユーロとなりました。アルバルとリーシング・ソリューションズの税引前利益は、7.1%減の456百万ユーロとなりました。

## 専門的金融事業—ニューデジタル事業と個人投資家事業

**2023年度通期において**、Nickelは口座開設数の着実な増加を維持しました（毎月63,000口座超<sup>2</sup>）。Floaのアクティブ・パートナーシップの数は急速に増加しました（2023年1月1日以降2.8倍）。個人投資家事業では、運用資産残高が2022年12月31日現在と比較して、12.4%増加しました。これは、極めて高水準の顧客獲得（当年度は約230,000件）に牽引されました。

営業収益<sup>3</sup>は、1,007百万ユーロとなり、19.0%増の大幅な増収でした。その要因は、事業活動の進展に伴いニューデジタル事業において営業収益が増加したこと、および金利環境により個人投資家事業の営業収益が大幅に増加したことでした。

営業費用<sup>3</sup>は、677百万ユーロとなり、17.1%増加しました。ジョーズ効果はプラスでした。

営業総利益<sup>3</sup>は、330百万ユーロとなり、23.0%増の大幅な増益でした。

リスク費用<sup>3</sup>は、123百万ユーロ（前年度は100百万ユーロ）でした。

以上から、ドイツ国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後のニューデジタル事業と個人投資家事業の税引前利益<sup>4</sup>は、195百万ユーロとなり、23.9%増の大幅な増益でした。

**2023年度第4四半期において**、ニューデジタル事業と個人投資家事業の営業収益<sup>3</sup>は、247百万ユーロとなり、8.3%増の大幅増収でした。その要因は、ニューデジタル事業が引き続き好調であったことに加え、個人投

<sup>1</sup> 期末におけるフリート契約台数

<sup>2</sup> すべての国の2023年第4四半期の平均

<sup>3</sup> ドイツ国内プライベートバンキングの100%を含む

<sup>4</sup> ドイツ国内プライベートバンキングの3分の2を含む



資家事業の営業収益の増加がより正常化したことでした。営業費用<sup>1</sup>は、事業部門の開発戦略により184百万ユーロとなり、16.2%増加しました。営業総利益<sup>1</sup>は、63百万ユーロとなりました。リスク費用<sup>1</sup>は、43百万ユーロ（前年同期は42百万ユーロ）でした。ドイツ国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後のニューデジタル事業と個人投資家事業の税引前利益<sup>2</sup>は、18百万ユーロ（前年同期は25百万ユーロ）となりました。

\*  
\* \*

## インベストメント&プロテクションサービス（IPS）部門

**2023年度通期において、保障保険、貯蓄型保険、責任投資において重要な役割を果たすIPS部門は、引き続き計画を展開し、戦略的取組みを追求し続けました。** 保険事業の業績は改善し、これは保障保険業務およびパートナーシップからの寄与の増加に牽引されました。ウェルス・マネジメント事業は、営業収益の大幅な増収およびすべての地域で好調な資金純流入（当年度は+17.1十億ユーロ<sup>3</sup>）を達成しました。アセット・マネジメント事業<sup>4</sup>の業績は好調で、当年度の資産純流入は+13.4十億ユーロとなりました。不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメントの業績は、プリンシパル・インベストメントの高いベース効果および不動産管理事業の市場が大幅に減速した影響を強く受けました。

2023年12月31日現在、運用資産残高<sup>5</sup>は、1,236十億ユーロでした。これは、+54.4十億ユーロの市場動向の影響および+23.8十億ユーロの堅調な資金純流入の影響でしたが、-9.8十億ユーロの不利な為替の影響により一部相殺されました。資金純流入は好調で、主にアセット・マネジメント事業のマネー・マーケット・ファンドへの資金流入およびウェルス・マネジメント事業における好調な資金純流入に牽引されました。運用資産残高<sup>5</sup>は、2022年12月31日現在と比較して5.5%増加しました。

2023年12月31日現在、運用資産残高<sup>5</sup>の内訳は、アセット・マネジメント事業および不動産管理事業の566十億ユーロ、ウェルス・マネジメント事業の415十億ユーロならびに保険事業の255十億ユーロでした。

営業収益は、3.8%減少しましたが、不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメントの寄与を除くと3.7%増加しました。これは、ウェルス・マネジメント事業の増収（+6.0%）、保険事業の増収（+3.6%）およびアセット・マネジメント事業<sup>4</sup>の増収（マイナスの非経常的項目のベース効果を除くと+1.7%）に牽引されました。

営業費用は、3,566百万ユーロとなり、0.4%増（不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメントの寄与を除くと+1.7%）でした。

ジョーズ効果は、不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメントにおける現在の景気後退の影響を除くとプラス（+2.1ポイント）でした。

営業総利益は、2,024百万ユーロとなり、10.5%減少しました。

以上から、IPS部門の税引前利益は、2,159百万ユーロとなり、14.7%減（不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメントの寄与を除くと+1.8%）でした。

**2023年度第4四半期において、IPS部門の営業収益は、12.9%減の1,331百万ユーロとなり、不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメントにおける現在の景気後退の影響を除くと1.5%減でした。** アセット・マネジメント事業の営業収益<sup>4</sup>の大幅な増収は、業績の悪化に関連した保険事業の減収、および取引手数料の減少に関連したウェルス・マネジメント事業の減収により相殺されました。不動産管理事業および

<sup>1</sup> ドイツ国内プライベートバンキングの100%を含む

<sup>2</sup> ドイツ国内プライベートバンキングの3分の2を含む

<sup>3</sup> スペインにおけるポートフォリオ売却の影響を除く

<sup>4</sup> 不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメントを除く

<sup>5</sup> 分配金を含む



リンシパル・インベストメンツの営業収益は、プリンシパル・インベストメンツのベース効果および不動産管理事業の市場の大幅な減速により、大幅に減収となりました。

**営業費用**は、主に不動産管理事業におけるコスト節減策の効果により、906百万ユーロとなり、5.3%減（不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツの寄与を除くと-2.3%）でした。ジョーズ効果は、不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツにおける現在の景気後退の影響を除くとプラス（+0.8ポイント）でした。

**営業総利益**は、425百万ユーロとなり、25.7%減少しました。

以上から、**IPS部門の税引前利益**は、367百万ユーロとなり、42.9%減（不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツを除くと-22.9%）でした。これには、アルゼンチンの保険事業の売却による一時的なマイナス影響が計上されていました。

## 保険事業

**2023年度通期**において、貯蓄型保険業務は、フランスでの堅調な事業活動に牽引され、資金純流入がユニット・リンク商品への資金流入に支えられたことにより、22.9十億ユーロの総資金流入を達成しました。保障保険業務は、ラテンアメリカおよびフランスで、特にアフィニティ保険、損害保険および個人向け保険において伸び続けました。

**営業収益**は、2,090百万ユーロとなり、3.6%増加しました。これは、主に保障保険業務の好調な業績および保険引受利益の増加に牽引されました。

**営業費用**は、808百万ユーロとなり、1.8%増加しました。

保険事業の**税引前利益**は、1,394百万ユーロとなり、4.1%増加しました。これは、すべての地域の関連会社の業績が上向いたことも要因の一つです。2023年度第4四半期において、これには、アルゼンチンの事業の売却による一時的なマイナス影響が反映されていました。

**2023年度第4四半期**において、保険事業の**営業収益**は、特に運用成績の低下との関連で5.5%減少し、473百万ユーロとなりました。**営業費用**は、コスト節減策により増加が抑制され、201百万ユーロとなり、1.6%増加しました。保険事業の**税引前利益**は、202百万ユーロとなり、39.1%減の大幅な減益でした。2023年度第4四半期において、これには、アルゼンチンの事業の売却による一時的なマイナス影響が反映されていました。

## ウェルス&アセット・マネジメント事業

**2023年度通期**において、ウェルス・マネジメント事業における業績は、特にコマーシャル&個人向けバンキング事業および大口顧客に関連して好調な資金純流入（当年度において17.1十億ユーロ<sup>1</sup>）があり、改善しました。営業収益は、金利環境に支えられ、大幅な増収となりました。

アセット・マネジメント事業<sup>2</sup>は、中長期ファンドからの資金純流出にもかかわらず、マネー・マーケット・ファンドへの資金流入に牽引され、持続的な資金流入を達成しました。営業収益は、資金流入およびマーケティング牽引力の影響により増加しました。

不動産管理事業の業績は、市場が大幅に減速したことにより大幅に低下し、プリンシパル・インベストメンツの業績は高水準であった前年度とは対照的でした。

**営業収益**は、3,500百万ユーロとなり、7.8%減少しましたが、不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツの寄与を除くと+3.8%の増収でした。営業収益は、ウェルス・マネジメント事業の増収（+6.0%）

<sup>1</sup> スペインにおけるポートフォリオ売却の影響を除く

<sup>2</sup> 不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツを除く





およびアセット・マネジメント事業<sup>1</sup>の増収（2022年度第3四半期のマイナスのベース効果を除くと+1.7%）に牽引されましたが、不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツにおける減収により相殺されました。

営業費用は、2,757百万ユーロとなり、0.1%減（不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツの寄与を除くと+1.6%）でした。ジョーズ効果は、不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツにおける現在の景気後退の影響を除くとプラス（+2.2ポイント）でした。

以上から、ウェルス&アセット・マネジメント事業の税引前利益は、765百万ユーロとなり、35.8%減少しました。これは、ウェルス・マネジメント事業における売却による譲渡益の影響およびアセット・マネジメント事業における合弁事業の設立の影響を反映し、高水準であった前年度とは対照的でした。

**2023年度第4四半期において**、ウェルス&アセット・マネジメント事業の営業収益は、16.6%減の858百万ユーロとなりましたが、不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツにおける現在の景気後退の影響を除くと増収でした（+1.6%）。営業収益は、アセット・マネジメント事業では大幅な増収となりましたが（+7.2%）<sup>1</sup>、ウェルス・マネジメント事業では取引手数料の減少により1.9%の減収となりました。不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツの営業収益は、ベース効果および不動産管理事業の市場が大幅に減速したことにより、大幅に減少しました。ウェルス&アセット・マネジメント事業の営業費用は、不動産管理事業だけでなく、アセット・マネジメント事業およびウェルス・マネジメント事業におけるコスト節減策により、7.1%減の705百万ユーロとなりました。ジョーズ効果は、不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツにおける景気後退の影響を除くと極めて高水準（+5.4ポイント）でした。以上から、ウェルス&アセット・マネジメント事業の税引前利益は、165百万ユーロとなり、46.9%減（不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツの寄与を除くと+13.7%）でした。

\*  
\* \*

## コーポレート・センター

2023年1月1日からIFRS第4号「保険契約」に代わりIFRS第17号「保険契約」が適用されています。IFRS第17号は、保険事業に関するIFRS第9号の施行と同時に効力が発生しました。

主な効果は以下の通りです。

- 「保険事業に帰属する」とみなされる営業費用は、営業収益から差し引いて計上され、営業費用としては計上されません。これらの会計項目は、保険契約を販売する保険事業および当グループの事業体（保険事業を除く）（すなわち内部の販売会社）にのみ適用され、営業総利益には影響を与えません。内部の販売会社に対するこれらの項目の影響は、業績の読み方を混乱させないためにコーポレート・センターにおいて示されています。
- 一部の資産の純損益を通じた公正価値会計（IFRS第9号）により生じるボラティリティの影響は、コーポレート・センターにおいて示されるため、保険事業の営業収益に影響はありません。

2023年1月1日現在、コーポレート・センターには修正再表示が含まれており、より読みやすくするために各四半期に個別に報告されます。

**2023年度通期において**、コーポレート・センターにおける保険事業に関連する修正再表示による営業収益は、-1,081百万ユーロ（前年度は-1,440百万ユーロ）となりました。これには、内部の販売会社に「帰属」する営業費用の修正再表示による影響として-1,041百万ユーロ（前年度は-1,056百万ユーロ）および資産の純損益を通じた公正価値会計（IFRS第9号）により生じる保険事業におけるボラティリティによる影響として-40百万ユーロ（前年度は-384百万ユーロ）が含まれています。

<sup>1</sup> 不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツを除く



コーポレート・センターの保険事業に関連する修正再表示による営業費用は、-1,041百万ユーロ（前年度は-1,056百万ユーロ）となりました。

以上から、コーポレート・センターの保険事業に関連する修正再表示による税引前利益は、-40百万ユーロ（前年度は-384百万ユーロ）となりました。

**2023年度第4四半期において、コーポレート・センターにおける保険事業に関連する修正再表示による営業収益は、-273百万ユーロ（前年同期は-384百万ユーロ）となりました。**これには、内部の販売会社に「帰属」する営業費用の修正再表示による影響として-284百万ユーロ（前年同期は-296百万ユーロ）および資産の純損益を通じた公正価値会計（IFRS第9号）により生じる保険事業におけるボラティリティによる影響として11百万ユーロ（前年同期は-87百万ユーロ）が含まれています。**コーポレート・センターの保険事業に関連する修正再表示による営業費用は、-284百万ユーロ（前年同期は-296百万ユーロ）となりました。**以上から、コーポレート・センターの保険事業に関連する修正再表示による税引前利益は、11百万ユーロ（前年同期は-87百万ユーロ）となりました。

**2023年度通期において、特別損益項目はコーポレート・センターに計上され、コーポレート・センターの営業収益（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、-1,060百万ユーロ（前年度は-278百万ユーロ）となり、特別損益項目の影響を除くと-122百万ユーロとなりました。**これには、2022年度第4四半期に欧州中央銀行が決定したTLTROの条件変更に伴うヘッジ調整による一時的影響（-938百万ユーロ）および訴訟引当金による一時的影響（-125百万ユーロ）が含まれています。また、デリバティブに含まれる自己勘定の信用リスク再評価（DVA）による55百万ユーロのマイナス影響（前年度は+185百万ユーロであり、マイナスの非経常的項目により相殺されました。）も含まれています。

コーポレート・センターの営業費用（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、1,551百万ユーロ（前年度は1,163百万ユーロ）となり、特別損益項目の影響を除くと1,049百万ユーロでした。これには、特にパーソナル・ファイナンスにおける事業適応費用全般による一時的影響（276百万ユーロ）および英国銀行税の影響（226百万ユーロ）に加え、182百万ユーロの事業再編費用と事業適応費用（前年度は189百万ユーロ）および395百万ユーロのIT強化費用（前年度は302百万ユーロ）の一時的影響が含まれていました。

コーポレート・センターのリスク費用（保険事業に関連する修正再表示を除く）<sup>1</sup>は、37百万ユーロ（前年度は185百万ユーロ）となりました。

金融商品に係るリスクに関するその他の純損失、すなわち金融商品の無効または執行不能のリスクに関連する費用は、775百万ユーロとなり、特別損益項目とみなされます。当年度において、これには、ポーランドの住宅ローンに対する引当金（450百万ユーロ）、パーソナル・ファイナンスに関連する訴訟引当金（221百万ユーロ）および債権に係るリスクに対する引当金（104百万ユーロ）による一時的影響が含まれていました。

コーポレート・センターのその他の営業外項目（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、190百万ユーロ（前年度は-36百万ユーロ）となりました。これには、2023年度第2四半期の売却による譲渡益によるプラスの影響が含まれています。前年度のその他の営業外項目には、Ukrsibbank株式の減損および為替換算差額<sup>2</sup>の純損益への分類変更に伴うマイナス影響（-433百万ユーロ）が含まれていましたが、その一部はbpost bankの負ののれんから生じたプラス影響（+244百万ユーロ）および持分売却による譲渡益（+204百万ユーロ）により相殺されました。

以上から、コーポレート・センターの税引前利益（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、-3,233百万ユーロ（前年度は-1,662百万ユーロ）となり、特別損益項目の影響を除くと-1,017百万ユーロとなりました。

<sup>1</sup> 注：リスク費用には、金融商品に係るリスクに関するその他の純損失は含まない

<sup>2</sup> 従前、連結資本に計上



2023年度第4四半期において、特別損益項目はコーポレート・センターに計上され、コーポレート・センターの営業収益（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、-156百万ユーロ（前年同期は-244百万ユーロ）となり、特別損益項目の影響を除くと-109百万ユーロとなりました。これには、2022年度第4四半期に欧州中央銀行が決定したTLTROの条件変更に伴うヘッジ調整による一時的影響（-47百万ユーロ）が含まれています。また、デリバティブに含まれる自己勘定の信用リスク再評価（DVA）による-44百万ユーロのマイナス影響（前年同期は-16百万ユーロ）も含まれています。コーポレート・センターの営業費用（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、388百万ユーロ（前年同期は211百万ユーロ）となり、特別損益項目の影響を除くと147百万ユーロとなりました。これには、英国銀行税（201百万ユーロ）および事業適応費用全般（40百万ユーロ）の一時的影響に加え、54百万ユーロの事業再編費用と事業適応費用（前年同期は103百万ユーロ）および119百万ユーロのIT強化費用（前年同期は85百万ユーロ）の一時的影響が含まれています。コーポレート・センターのリスク費用（保険事業に関連する修正再表示を除く）<sup>1</sup>は、3百万ユーロとなりました。前年同期のリスク費用は、59百万ユーロの戻入を記録しました。金融商品に係るリスクに関するその他の純損失は、775百万ユーロとなり、特別損益項目とみなされます。当四半期において、これには、ポーランドの住宅ローンに対する引当金（450百万ユーロ、うち130百万ユーロは欧州・地中海沿岸諸国に計上された引当金の分類変更に関連します。）、パーソナル・ファイナンスに関連する訴訟引当金（221百万ユーロ）および債権に係るリスクに対する引当金（104百万ユーロ）による一時的影響が含まれていました。金融商品に係るリスクに関するその他の純損失は、特別損益項目とみなされ、分配可能純利益から除外されています。コーポレート・センターのその他の営業外項目（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、50百万ユーロ（前年同期は14百万ユーロ）となりました。以上から、コーポレート・センターの税引前利益（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、-1,272百万ユーロ（前年同期は-382百万ユーロ）となり、特別損益項目の影響を除くと-209百万ユーロとなりました。当四半期は、特別損益項目の影響を強く受けました（-1,063百万ユーロ）。

\*  
\* \*

## 財務構造

当グループの財務構造は盤石です。

普通株式等Tier1比率は2023年12月31日現在13.2%<sup>2</sup>で、2023年9月30日現在と比較して20ベースポイント減少しました。この主因は以下の通りです。

- 2023年度第4四半期の純利益を剰余金に計上（配当性向60%とリスクアセットの成長を考慮後）：0ベースポイント
- 分配可能純利益に関する調整の影響：-20ベースポイント

他の要因が普通株式等Tier1比率に及ぼした影響は全体として限定的でした。

普通株式等Tier1比率は、2022年12月31日現在と比較して90ベースポイント増加しました。この主因は以下の通りです。

- 2023年2月1日付でのBank of the Westの売却の完了（自己株式取得プログラムおよび資本の再配分控除後）：+100ベースポイント
- 分配可能純利益に関する調整の影響：-30ベースポイント
- 2023年度の純利益を剰余金に計上（配当性向60%とリスクアセットの成長およびその最適化を考慮後）：+30ベースポイント
- 2023年度第1四半期におけるIFRS第17号の適用、モデルの更新および規制の改定による影響：-10ベースポイント

<sup>1</sup> 注：リスク費用には、金融商品に係るリスクに関するその他の純損失は含まない

<sup>2</sup> CRD5。IFRS第9号経過規定を含む



他の要因が普通株式等Tier1比率に及ぼした影響は全体として限定的でした。

レバレッジ比率<sup>1</sup>は、2023年12月31日現在4.6%でした。

流動性カバレッジ比率<sup>2</sup>（期末）は、2023年12月31日現在148%の高水準でした。

即時利用可能な余剰資金<sup>3</sup>は、2023年12月31日現在で474十億ユーロに上りました。これは資金調達との関係で1年超の余裕資金があることを意味しています。

\*  
\* \*

---

<sup>1</sup> 規則（EU）2019/876に従って算定

<sup>2</sup> 規則（CRR）575/2013第451a条に従って算定

<sup>3</sup> 健全性基準（特に米国基準。日中支払システムの需要を除く）を考慮した流動性市場資産または中央銀行の適格（相殺能力）を満たすもの





## 連結損益計算書

	4Q23	4Q22	4Q23 / 4Q22	2023	2022	2023 / 2022
(単位：百万ユーロ)						
<b>グループ</b>						
営業収益	10,898	10,885	+0.1%	45,874	45,430	+1.0%
営業費用および減価償却費	-7,783	-7,471	+4.2%	-30,956	-29,864	+3.7%
営業総利益	3,115	3,414	-8.8%	14,918	15,566	-4.2%
リスク費用	-972	-697	+39.4%	-2,907	-3,003	-3.2%
金融商品に係るリスクに関するその他の純損失	-645	0	n.s.	-775	0	n.s.
営業利益	1,498	2,717	-44.9%	11,236	12,564	-10.6%
持分法適用会社投資損益	73	94	-22.5%	593	655	-9.5%
その他の営業外項目	-95	-22	n.s.	-104	-4	n.s.
税引前利益	1,476	2,790	-47.1%	11,725	13,214	-11.3%
法人税	-337	-732	-53.9%	-3,266	-3,653	-10.6%
少数株主帰属純利益	-70	-102	-31.1%	-431	-400	+7.8%
非継続事業の純利益	0	185	n.s.	2,947	687	n.s.
株主帰属純利益	1,069	2,142	-50.1%	10,975	9,848	+11.4%
コストインカム率	71.4%	68.6%	+2.8 pt	67.5%	65.7%	+1.8 pt

2023年5月2日、BNPパリバは、2022年度の四半期の数値を修正再表示し、各四半期について (i) 2023年2月1日のBank of the Westの売却に伴う、売却目的で保有する資産および負債の処分グループに関するIFRS第5号の適用、(ii) 2023年1月1日付でのIFRS第17号（保険契約）の適用および保険会社に対するIFRS第9号の適用、(iii) 2022年1月1日付でのトルコに対するIAS第29号（超インフレ経済下における財務報告）の適用、ならびに (iv) グローバル・マーケット事業およびベルギーのコマーシャル&個人向けバンキングにおける事業および純利益の内部振替を反映したものを公表しました。2022年度の四半期の数値は、これらの影響について2022年1月1日に発生したものと修正再表示されています。さらに、2023年12月11日、BNPパリバは、グローバル・マーケット事業内の事業の内部振替を反映するため、2022年度および2023年度の四半期の数値を修正再表示したものを公表しました。当該振替による同事業の全体的な業績への影響はありませんでした。2024年1月31日、BNPパリバは、一時項目を特別損益項目に再分類したことを反映するため、2023年度第3四半期累計期間（1-9月）分配可能純利益を修正再表示したものを公表しました。本プレスリリースに記載されている数値には、上記の修正再表示がすべて反映されています。

BNPパリバの2023年度通期および2023年度第4四半期に関わる財務情報の開示は、本プレスリリース、上記の修正再表示されたすべての数値およびプレゼンテーションに含まれています。

法令上要求される開示情報はすべて、登録書類（universal registration document）を含めて、<https://invest.bnpparibas/en/>の「Results（業績）」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典L.451-1-2条およびフランス金融市場庁（Autorité des Marchés Financiers）の一般規則第222-1条以降の規定に従い、BNPパリバが公表しています。



## 2023年度第4四半期 – コア事業別業績

	コマーシャル& 個人向け バンキングサービス 部門 (プライベート ・バンキングの 2/3)	インベストメ ント&プロテ クションサー ビス部門	ホールセール バンキング 部門	事業部門合計	コーポレート ・センター	グループ 合計
(単位: 百万ユーロ)						
営業収益	6,254	1,331	3,742	11,326	-428	10,898
対前年同期比	+1.8%	-12.9%	-2.6%	-1.6%	-31.7%	+0.1%
対前四半期比	-4.8%	-6.3%	-3.9%	-4.7%	+41.0%	-5.9%
営業費用および減価償却費	-4,033	-906	-2,740	-7,679	-104	-7,783
対前年同期比	+4.2%	-5.3%	+0.5%	+1.6%	n.s.	+4.2%
対前四半期比	+4.5%	+2.5%	+15.7%	+8.0%	n.s.	+9.7%
営業総利益	2,221	425	1,002	3,648	-533	3,115
対前年同期比	-2.2%	-25.7%	-10.1%	-7.8%	-1.7%	-8.8%
対前四半期比	-18.1%	-20.8%	-34.4%	-23.6%	+85.4%	-30.6%
リスク費用 (金融商品に係るリスクに関するその他の純損失を含む)	-780	3	-62	-839	-778	-1,617
対前年同期比	+27.2%	-78.3%	-60.6%	+11.0%	n.s.	n.s.
対前四半期比	+2.5%	n.s.	n.s.	+15.3%	n.s.	n.s.
営業利益	1,440	428	941	2,809	-1,311	1,498
対前年同期比	-13.0%	-27.0%	-1.8%	-12.2%	n.s.	-44.9%
対前四半期比	-26.1%	-18.2%	-40.3%	-30.6%	n.s.	-60.1%
持分法適用会社投資損益	79	18	1	99	-26	73
その他の営業外項目	-105	-79	13	-171	76	-95
税引前利益	1,414	367	955	2,737	-1,261	1,476
対前年同期比	-15.0%	-42.9%	+0.3%	-16.0%	n.s.	-47.1%
対前四半期比	-26.7%	-39.3%	-38.6%	-33.1%	n.s.	-61.3%

	コマーシャル& 個人向け バンキングサービス 部門 (プライベート ・バンキングの 2/3)	インベストメ ント&プロテ クションサー ビス部門	ホールセール バンキング 部門	事業部門合計	コーポレート ・センター	グループ 合計
(単位: 百万ユーロ)						
営業収益	6,254	1,331	3,742	11,326	-428	10,898
前年同期	6,141	1,529	3,842	11,512	-627	10,885
前四半期	6,569	1,420	3,896	11,885	-304	11,581
営業費用および減価償却費	-4,033	-906	-2,740	-7,679	-104	-7,783
前年同期	-3,872	-956	-2,727	-7,556	85	-7,471
前四半期	-3,858	-884	-2,368	-7,109	16	-7,093
営業総利益	2,221	425	1,002	3,648	-533	3,115
前年同期	2,269	572	1,115	3,956	-542	3,414
前四半期	2,711	536	1,528	4,775	-287	4,488
リスク費用 (金融商品に係るリスクに関するその他の純損失を含む)	-780	3	-62	-839	-778	-1,617
前年同期	-613	14	-157	-756	59	-697
前四半期	-761	-13	47	-727	-7	-734
営業利益	1,440	428	941	2,809	-1,311	1,498
前年同期	1,656	586	958	3,200	-483	2,717
前四半期	1,950	523	1,575	4,048	-294	3,754
持分法適用会社投資損益	79	18	1	99	-26	73
前年同期	69	61	2	132	-38	94
前四半期	92	80	6	177	16	193
その他の営業外項目	-105	-79	13	-171	76	-95
前年同期	-62	-4	-8	-73	51	-22
前四半期	-113	3	-26	-136	3	-133
税引前利益	1,414	367	955	2,737	-1,261	1,476
前年同期	1,663	643	952	3,259	-469	2,790
前四半期	1,929	606	1,555	4,089	-275	3,814
法人税						-337
少数株主帰属純利益						-70
非継続事業の純利益						0
株主帰属純利益						1,069



## 2023年度通期 – コア事業別業績

		コマーシャル& 個人向け バンキングサービス 部門 (プライベート・ バンキングの 2/3)	インベストメ ント&プロテ クションサー ビス部門	ホールセール バンキング 部門	事業部門合計	コーポレート ・センター	グループ 合計
(単位: 百万ユーロ)							
営業収益		25,917	5,590	16,509	48,015	-2,141	45,874
	対前年比	+4.0%	-3.8%	+0.6%	+1.8%	+24.6%	+1.0%
営業費用および減価償却費		-16,059	-3,566	-10,823	-30,447	-509	-30,956
	対前年比	+3.5%	+0.4%	+1.2%	+2.3%	n.s.	+3.7%
営業総利益		9,858	2,024	5,686	17,568	-2,650	14,918
	対前年比	+4.7%	-10.5%	-0.5%	+1.0%	+45.3%	-4.2%
リスク費用 (金融商品に係るリスクに関するその他の純損失を含む)		-2,920	-13	63	-2,870	-812	-3,682
	対前年比	+16.9%	n.s.	n.s.	+1.9%	n.s.	+22.6%
営業利益		6,938	2,011	5,749	14,698	-3,462	11,236
	対前年比	+0.3%	-11.2%	+6.7%	+0.9%	+72.3%	-10.6%
持分法適用会社投資損益		337	224	13	574	19	593
その他の営業外項目		-181	-76	-18	-275	171	-104
税引前利益		7,094	2,159	5,744	14,997	-3,272	11,725
	対前年比	-3.2%	-14.7%	+6.4%	-1.7%	+60.0%	-11.3%
法人税							-3,266
少数株主帰属純利益							-431
非継続事業の純利益							2,947
株主帰属純利益							10,975



## 連結四半期業績の推移

(単位：百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>グループ</b>								
<b>営業収益</b>	10,898	11,581	11,363	12,032	10,885	11,141	11,536	11,868
営業費用および減価償却費	-7,783	-7,093	-6,889	-9,191	-7,471	-6,860	-6,779	-8,754
<b>営業総利益</b>	3,115	4,488	4,474	2,841	3,414	4,281	4,757	3,114
リスク費用*	-972	-734	-609	-592	-697	-897	-758	-651
金融商品に係るリスクに関するその他の純損失	-645	0	-80	-50	0	0	0	0
<b>営業利益</b>	1,498	3,754	3,785	2,199	2,717	3,384	3,999	2,463
持分法適用会社投資損益	73	193	149	178	94	176	227	158
その他の営業外項目	-95	-133	124	0	-22	39	-26	4
<b>税引前利益</b>	1,476	3,814	4,058	2,377	2,790	3,599	4,200	2,625
法人税	-337	-1,060	-1,078	-791	-732	-871	-1,131	-919
少数株主帰属純利益	-70	-93	-170	-98	-102	-92	-112	-95
非継続事業の純利益	0	0	0	2,947	185	136	136	229
<b>株主帰属純利益</b>	1,069	2,661	2,810	4,435	2,142	2,773	3,093	1,840
<b>コスト/インカム率</b>	71.4%	61.2%	60.6%	76.4%	68.6%	61.6%	58.8%	73.8%
融資平均残高（十億ユーロ）	821.9	820.5	820.8	815.9	823.1	816.8	796.9	776.8
預金平均残高（十億ユーロ）	774.9	770.0	773.5	784.5	794.1	789.9	770.4	752.2
融資期初残高（十億ユーロ、リスク費用算定に使用）	899.0	894.6	898.8	901.2	927.2	907.1	890.2	853.3
リスク費用（年率、ベースポイント）*	43	33	27	26	30	40	34	31

\*注：リスク費用には、「金融商品に係るリスクに関するその他の純損失」、すなわち金融商品の無効または執行不能のリスクに関連する費用（2023年度のポーランドの住宅ローンに対する特別引当金、パーソナル・ファイナンスに関連する訴訟引当金および債権に係るリスクに対する引当金（2023年度第1四半期の50百万ユーロ、2023年度第2四半期の欧州・地中海沿岸諸国に計上された80百万ユーロ、2023年度第4四半期の欧州・地中海沿岸諸国に計上された-130百万ユーロの戻入および2023年度第4四半期のコーポレート・センターに計上された775百万ユーロの引当金））は含まない





(単位: 百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>ホールセールバンキング (CIB) 部門</b>								
営業収益	3,742	3,896	3,998	4,873	3,842	3,783	4,093	4,685
営業費用および減価償却費	-2,740	-2,368	-2,275	-3,440	-2,727	-2,327	-2,299	-3,338
営業総利益	1,002	1,528	1,723	1,433	1,115	1,456	1,794	1,347
リスク費用	-62	47	78	-1	-157	-90	-76	-2
営業利益	941	1,575	1,801	1,432	958	1,366	1,717	1,346
持分法適用会社投資損益	1	6	3	3	2	5	9	4
その他の営業外項目	13	-26	2	-6	-8	-3	-1	1
税引前利益	955	1,555	1,806	1,428	952	1,369	1,726	1,351
<b>コスト/インカム率</b>	<b>73.2%</b>	<b>60.8%</b>	<b>56.9%</b>	<b>70.6%</b>	<b>71.0%</b>	<b>61.5%</b>	<b>56.2%</b>	<b>71.2%</b>
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	29.1	29.0	29.0	28.8	29.9	29.6	28.9	27.4
リスクアセット (十億ユーロ)	241.4	246.6	243.3	244.6	244.0	266.5	260.7	256.2
(単位: 百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>グローバル・バンキング事業</b>								
営業収益	1,538	1,404	1,425	1,455	1,513	1,171	1,239	1,258
営業費用および減価償却費	-735	-679	-655	-849	-734	-654	-648	-805
営業総利益	804	726	770	605	779	518	591	453
リスク費用	-58	46	85	1	-155	-116	-85	20
営業利益	746	771	855	607	624	402	505	473
持分法適用会社投資損益	2	1	1	1	1	1	1	1
その他の営業外項目	5	-5	0	0	0	0	0	0
税引前利益	752	768	856	608	626	403	506	474
<b>コスト/インカム率</b>	<b>47.8%</b>	<b>48.3%</b>	<b>46.0%</b>	<b>58.4%</b>	<b>48.5%</b>	<b>55.8%</b>	<b>52.3%</b>	<b>64.0%</b>
融資平均残高 (十億ユーロ)	178	179	179	182	188	187	176	168
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	175	172	176	177	189	179	170	163
預金平均残高 (十億ユーロ)	217	208	209	216	219	209	198	190
リスク費用 (年率、ベースポイント)	13	-11	-19	0	33	26	20	-5
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	16.2	16.3	16.5	16.5	16.5	16.4	16.0	15.2
リスクアセット (十億ユーロ)	140.7	140.7	140.6	146.1	146.3	155.5	149.0	145.3
(単位: 百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>グローバル・マーケット事業</b>								
営業収益	1,519	1,800	1,913	2,764	1,651	1,980	2,191	2,814
うち FICC	861	1,076	1,185	2,016	1,262	1,264	1,448	1,815
うち株式・プライムサービス	658	724	728	748	390	716	743	1,000
営業費用および減価償却費	-1,504	-1,163	-1,116	-2,016	-1,474	-1,161	-1,152	-1,994
営業総利益	16	638	796	748	177	819	1,040	819
リスク費用	-4	1	-6	-4	-3	28	8	-21
営業利益	11	639	790	744	174	847	1,048	798
持分法適用会社投資損益	1	1	0	2	1	3	8	2
その他の営業外項目	9	0	2	-7	-9	-1	-1	1
税引前利益	21	640	793	740	166	848	1,055	801
<b>コスト/インカム率</b>	<b>99.0%</b>	<b>64.6%</b>	<b>58.4%</b>	<b>72.9%</b>	<b>89.3%</b>	<b>58.6%</b>	<b>52.6%</b>	<b>70.9%</b>
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	11.7	11.5	11.3	11.2	12.0	11.8	11.5	10.9
リスクアセット (十億ユーロ)	90.1	95.4	92.7	88.3	87.7	99.4	98.5	96.3
(単位: 百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>証券管理事業</b>								
営業収益	684	691	661	655	679	632	663	613
営業費用および減価償却費	-502	-526	-504	-575	-520	-513	-499	-538
営業総利益	183	165	157	79	159	119	164	75
リスク費用	0	0	-1	1	1	-2	0	0
営業利益	183	165	156	81	160	118	164	75
持分法適用会社投資損益	-1	3	1	0	-1	1	0	1
その他の営業外項目	-1	-22	0	0	1	-1	0	0
税引前利益	182	147	158	81	161	118	164	77
<b>コスト/インカム率</b>	<b>73.3%</b>	<b>76.1%</b>	<b>76.2%</b>	<b>87.9%</b>	<b>76.6%</b>	<b>81.1%</b>	<b>75.3%</b>	<b>87.8%</b>
預かり資産 (十億ユーロ)	12,382	12,894	12,015	11,941	11,133	10,798	11,214	11,907
管理資産 (十億ユーロ)	2,468	2,394	2,408	2,520	2,303	2,262	2,256	2,426
取引件数 (百万件)	36.0	34.5	35.0	38.6	36.9	35.5	38.3	38.6
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	1.2	1.2	1.2	1.1	1.4	1.4	1.4	1.3
リスクアセット (十億ユーロ)	10.6	10.5	10.0	10.2	9.9	11.6	13.2	14.6



(単位: 百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>コーポラル&amp;個人向けバンキングサービス (CPBS) 部門 (プライベートバンキングの100%を含む)<sup>1</sup></b>								
営業収益	6,426	6,752	6,778	6,670	6,306	6,377	6,580	6,308
営業費用および減価償却費	-4,128	-3,948	-3,776	-4,585	-3,964	-3,767	-3,766	-4,380
営業総利益	2,298	2,804	3,003	2,084	2,342	2,610	2,814	1,927
リスク費用 (金融商品に係るリスクに関するその他の純損失を含む)	-778	-762	-733	-650	-600	-681	-614	-596
営業利益	1,520	2,042	2,269	1,435	1,742	1,929	2,200	1,331
持分法適用会社投資損益	79	92	71	95	69	120	157	86
その他の営業外項目	-105	-113	30	8	-62	3	26	11
税引前利益	1,494	2,021	2,370	1,537	1,750	2,052	2,383	1,428
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-80	-92	-90	-66	-87	-65	-76	-54
コーポラル&個人向けバンキングサービス部門の税引前利益	1,414	1,929	2,280	1,471	1,663	1,987	2,307	1,374
<b>コスト/インカム率</b>								
融資平均残高 (十億ユーロ)	637	635	635	627	627	622	612	600
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	630	635	628	629	624	620	607	593
預金平均残高 (十億ユーロ)	558	562	564	568	575	581	573	562
リスク費用 (年率、ベースポイント)	58	48	42	38	38	44	40	40
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	43.2	43.4	43.4	43.6	41.7	41.5	41.0	39.7
リスクアセット (十億ユーロ)	382.3	373.0	376.1	374.9	375.1	376.9	374.4	374.0
<b>(単位: 百万ユーロ)</b>								
<b>コーポラル&amp;個人向けバンキングサービス部門-PBL/CBLを除く (プライベートバンキングの100%を含む)<sup>1</sup></b>								
営業収益	6,425	6,754	6,782	6,666	6,298	6,364	6,566	6,296
営業費用および減価償却費	-4,128	-3,948	-3,776	-4,585	-3,964	-3,767	-3,766	-4,380
営業総利益	2,297	2,806	3,006	2,081	2,335	2,597	2,800	1,916
リスク費用 (金融商品に係るリスクに関するその他の純損失を含む)	-778	-762	-733	-650	-600	-681	-614	-596
営業利益	1,519	2,044	2,273	1,431	1,735	1,916	2,186	1,320
持分法適用会社投資損益	79	92	71	95	69	120	157	86
その他の営業外項目	-105	-113	30	8	-62	3	26	11
税引前利益	1,493	2,023	2,374	1,534	1,742	2,039	2,369	1,417
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-80	-92	-90	-66	-87	-65	-76	-54
コーポラル&個人向けバンキングサービス部門の税引前利益	1,414	1,931	2,283	1,468	1,655	1,974	2,293	1,362
<b>コスト/インカム率</b>								
融資平均残高 (十億ユーロ)	637	635	635	627	627	622	612	600
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	630	635	628	629	624	620	607	593
預金平均残高 (十億ユーロ)	558	562	564	568	575	581	573	562
リスク費用 (年率、ベースポイント)	58	48	42	38	38	44	40	40
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	43.2	43.4	43.4	43.6	41.7	41.5	41.0	39.7
リスクアセット (十億ユーロ)	382.3	373.0	376.1	374.9	375.1	376.9	374.4	374.0
<b>(単位: 百万ユーロ)</b>								
<b>コーポラル&amp;個人向けバンキングサービス部門 (プライベートバンキングの2/3を含む)</b>								
営業収益	6,254	6,569	6,600	6,494	6,141	6,223	6,420	6,147
営業費用および減価償却費	-4,033	-3,858	-3,689	-4,479	-3,872	-3,677	-3,683	-4,281
営業総利益	2,221	2,711	2,911	2,015	2,269	2,545	2,737	1,866
リスク費用 (金融商品に係るリスクに関するその他の純損失を含む)	-780	-761	-732	-646	-613	-682	-613	-589
営業利益	1,440	1,950	2,179	1,369	1,656	1,863	2,124	1,277
持分法適用会社投資損益	79	92	71	95	69	120	157	86
その他の営業外項目	-105	-113	29	8	-62	3	26	11
税引前利益	1,414	1,929	2,280	1,471	1,663	1,987	2,307	1,374
<b>コスト/インカム率</b>								
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	43.2	43.4	43.4	43.6	41.7	41.5	41.0	39.7
リスクアセット (十億ユーロ)	378.1	368.9	371.9	370.8	370.9	372.6	370.3	369.9
<b>(単位: 百万ユーロ)</b>								
<b>コーポラル&amp;個人向けバンキングサービス部門-PBL/CBLを除く (プライベートバンキングの2/3を含む)</b>								
営業収益	6,253	6,571	6,604	6,491	6,134	6,210	6,406	6,136
営業費用および減価償却費	-4,033	-3,858	-3,689	-4,479	-3,872	-3,677	-3,683	-4,281
営業総利益	2,220	2,713	2,915	2,012	2,262	2,533	2,723	1,855
リスク費用 (金融商品に係るリスクに関するその他の純損失を含む)	-780	-761	-732	-646	-613	-682	-613	-589
営業利益	1,440	1,952	2,182	1,365	1,648	1,851	2,110	1,266
持分法適用会社投資損益	79	92	71	95	69	120	157	86
その他の営業外項目	-105	-113	29	8	-62	3	26	11
税引前利益	1,414	1,931	2,283	1,468	1,655	1,974	2,293	1,362
<b>コスト/インカム率</b>								
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	43.2	43.4	43.4	43.6	41.7	41.5	41.0	39.7
リスクアセット (十億ユーロ)	378.1	368.9	371.9	370.8	370.9	372.6	370.3	369.9

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>コマース&amp;個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの100%を含む) <sup>1</sup></b>								
<b>営業収益</b>	4,041	4,236	4,154	4,157	3,937	3,960	4,099	3,902
うち正味利息収益	2,608	2,772	2,661	2,678	2,483	2,499	2,582	2,413
うち手数料	1,432	1,464	1,493	1,479	1,454	1,461	1,517	1,490
営業費用および減価償却費	-2,830	-2,698	-2,524	-3,208	-2,720	-2,588	-2,568	-3,106
<b>営業総利益</b>	1,211	1,538	1,630	949	1,218	1,372	1,531	796
リスク費用 (金融商品に係るリスクに関するその他の純損失を含む)	-203	-291	-307	-231	-115	-285	-234	-239
<b>営業利益</b>	1,008	1,246	1,323	717	1,103	1,087	1,297	557
持分法適用会社投資損益	57	76	64	88	75	100	133	70
その他の営業外項目	-65	-121	-24	39	-54	0	10	-3
<b>税引前利益</b>	999	1,201	1,362	844	1,123	1,187	1,441	625
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-79	-91	-89	-65	-86	-65	-75	-54
<b>コマース&amp;個人向けバンキング事業の税引前利益</b>	920	1,110	1,273	778	1,037	1,122	1,366	571
<b>コスト/インカム率</b>								
融資平均残高 (十億ユーロ)	70.0%	63.7%	60.8%	77.2%	69.1%	65.3%	62.6%	79.6%
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	469	471	473	475	479	476	468	459
預金平均残高 (十億ユーロ)	495	499	501	504	501	497	485	474
リスク費用 (年率、ベースポイント)	526	530	532	536	545	550	542	532
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	27	23	18	14	9	23	19	20
リスクアセット (十億ユーロ)	29.4	29.8	30.0	30.5	29.6	29.5	29.2	28.3
	260.1	252.8	256.8	259.0	263.5	267.9	265.8	267.2
<b>(単位：百万ユーロ)</b>								
<b>コマース&amp;個人向けバンキング事業-PEL/CBLを除く (プライベートバンキングの100%を含む) <sup>1</sup></b>								
<b>営業収益</b>	4,040	4,238	4,157	4,154	3,929	3,948	4,085	3,891
うち正味利息収益	2,608	2,774	2,664	2,675	2,475	2,487	2,568	2,401
うち手数料	1,432	1,464	1,493	1,479	1,454	1,461	1,517	1,490
営業費用および減価償却費	-2,830	-2,698	-2,524	-3,208	-2,720	-2,588	-2,568	-3,106
<b>営業総利益</b>	1,211	1,540	1,633	946	1,210	1,360	1,517	785
リスク費用 (金融商品に係るリスクに関するその他の純損失を含む)	-203	-291	-307	-231	-115	-285	-234	-239
<b>営業利益</b>	1,007	1,248	1,326	714	1,095	1,075	1,283	546
持分法適用会社投資損益	57	76	64	88	75	100	133	70
その他の営業外項目	-65	-121	-24	39	-54	0	10	-3
<b>税引前利益</b>	999	1,203	1,366	840	1,115	1,174	1,427	613
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-79	-91	-89	-65	-86	-65	-75	-54
<b>コマース&amp;個人向けバンキング事業の税引前利益</b>	920	1,112	1,276	775	1,029	1,110	1,352	560
<b>コスト/インカム率</b>								
融資平均残高 (十億ユーロ)	70.0%	63.7%	60.7%	77.2%	69.2%	65.6%	62.9%	79.8%
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	469	471	473	475	479	476	468	459
預金平均残高 (十億ユーロ)	495	499	501	504	501	497	485	474
リスク費用 (年率、ベースポイント)	526	530	532	536	545	550	542	532
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	27	23	18	14	9	23	19	20
リスクアセット (十億ユーロ)	29.4	29.8	30.0	30.5	29.6	29.5	29.2	28.3
	260.1	252.8	256.8	259.0	263.5	267.9	265.8	267.2
<b>(単位：百万ユーロ)</b>								
<b>コマース&amp;個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの2/3を含む)</b>								
<b>営業収益</b>	3,871	4,056	3,979	3,984	3,775	3,809	3,941	3,744
営業費用および減価償却費	-2,737	-2,610	-2,439	-3,104	-2,630	-2,501	-2,486	-3,009
<b>営業総利益</b>	1,134	1,445	1,540	880	1,145	1,308	1,455	735
リスク費用 (金融商品に係るリスクに関するその他の純損失を含む)	-206	-290	-306	-228	-129	-285	-232	-231
<b>営業利益</b>	929	1,155	1,233	652	1,017	1,023	1,222	504
持分法適用会社投資損益	57	76	64	88	75	100	133	70
その他の営業外項目	-66	-121	-24	39	-54	0	10	-3
<b>税引前利益</b>	920	1,110	1,273	778	1,037	1,122	1,366	571
<b>コスト/インカム率</b>								
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	70.7%	64.4%	61.3%	77.9%	69.7%	65.7%	63.1%	80.4%
リスクアセット (十億ユーロ)	29.4	29.8	30.0	30.5	29.6	29.5	29.2	28.3
	256.0	248.8	252.7	254.9	259.3	263.7	261.7	263.1
<b>(単位：百万ユーロ)</b>								
<b>コマース&amp;個人向けバンキング事業-PEL/CBLを除く (プライベートバンキングの2/3を含む)</b>								
<b>営業収益</b>	3,870	4,058	3,982	3,981	3,768	3,796	3,927	3,733
営業費用および減価償却費	-2,737	-2,610	-2,439	-3,104	-2,630	-2,501	-2,486	-3,009
<b>営業総利益</b>	1,134	1,447	1,543	877	1,138	1,295	1,440	724
リスク費用 (金融商品に係るリスクに関するその他の純損失を含む)	-206	-290	-306	-228	-129	-285	-232	-231
<b>営業利益</b>	928	1,157	1,237	649	1,009	1,010	1,208	492
持分法適用会社投資損益	57	76	64	88	75	100	133	70
その他の営業外項目	-66	-121	-24	39	-54	0	10	-3
<b>税引前利益</b>	920	1,112	1,276	775	1,029	1,110	1,352	560
<b>コスト/インカム率</b>								
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	70.7%	64.3%	61.3%	78.0%	69.8%	65.9%	63.3%	80.6%
リスクアセット (十億ユーロ)	29.4	29.8	30.0	30.5	29.6	29.5	29.2	28.3
	256.0	248.8	252.7	254.9	259.3	263.7	261.7	263.1

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>ユーロ圏のコマーシャル&amp;個人向けバンキング事業（プライベートバンキングの100%を含む）<sup>1</sup></b>								
営業収益	3,414	3,427	3,550	3,509	3,403	3,354	3,479	3,317
うち正味利息収益	2,098	2,090	2,152	2,139	2,050	2,011	2,074	1,947
うち手数料	1,316	1,337	1,398	1,371	1,353	1,343	1,405	1,370
営業費用および減価償却費	-2,399	-2,243	-2,180	-2,773	-2,301	-2,193	-2,152	-2,678
営業総利益	1,015	1,184	1,371	736	1,102	1,161	1,327	640
リスク費用	-314	-241	-251	-183	-105	-230	-187	-198
営業利益	701	943	1,120	553	997	931	1,140	442
持分法適用会社投資損益	0	1	0	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	7	2	0	1	-1	5	31	6
税引前利益	708	946	1,120	555	996	936	1,171	448
ウェルス&アセット・マネジメントに分配される利益	-67	-74	-79	-57	-80	-61	-72	-50
ユーロ圏のコマーシャル&個人向けバンキング事業の税引前利益	640	872	1,041	498	917	875	1,099	397
<b>コスト/インカム率</b>								
融資平均残高（十億ユーロ）	436	438	440	441	444	441	433	425
融資期初残高（十億ユーロ、リスク費用算定に使用）	460	464	465	467	463	460	449	437
預金平均残高（十億ユーロ）	483	489	492	494	502	508	501	492
リスク費用（年率、ベースポイント）	27	21	22	16	9	20	17	18
配賦資本（十億ユーロ、年初末；プライベートバンキングの2/3を含む）	24.1	24.4	24.5	24.9	24.1	24.1	24.0	23.2
リスクアセット（十億ユーロ）	211.3	206.4	210.2	209.5	213.0	215.8	214.0	218.8
<b>(単位：百万ユーロ)</b>								
<b>ユーロ圏のコマーシャル&amp;個人向けバンキング事業－P&amp;L/C&amp;Lを除く（プライベートバンキングの100%を含む）<sup>1</sup></b>								
営業収益	3,413	3,429	3,554	3,506	3,395	3,341	3,465	3,306
うち正味利息収益	2,097	2,092	2,156	2,136	2,042	1,998	2,060	1,936
うち手数料	1,316	1,337	1,398	1,371	1,353	1,343	1,405	1,370
営業費用および減価償却費	-2,399	-2,243	-2,180	-2,773	-2,301	-2,193	-2,152	-2,678
営業総利益	1,014	1,186	1,374	733	1,094	1,148	1,313	628
リスク費用	-314	-241	-251	-183	-105	-230	-187	-198
営業利益	700	945	1,123	550	989	918	1,126	430
持分法適用会社投資損益	0	1	0	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	7	2	0	1	-1	5	31	6
税引前利益	707	948	1,123	552	989	923	1,157	436
ウェルス&アセット・マネジメントに分配される利益	-67	-74	-79	-57	-80	-61	-72	-50
ユーロ圏のコマーシャル&個人向けバンキング事業の税引前利益	640	874	1,044	495	909	862	1,085	386
<b>コスト/インカム率</b>								
融資平均残高（十億ユーロ）	436	438	440	441	444	441	433	425
融資期初残高（十億ユーロ、リスク費用算定に使用）	460	464	465	467	463	460	449	437
預金平均残高（十億ユーロ）	483	489	492	494	502	508	501	492
リスク費用（年率、ベースポイント）	27	21	22	16	9	20	17	18
配賦資本（十億ユーロ、年初末；プライベートバンキングの2/3を含む）	24.1	24.4	24.5	24.9	24.1	24.1	24.0	23.2
リスクアセット（十億ユーロ）	211.3	206.4	210.2	209.5	213.0	215.8	214.0	218.8
<b>(単位：百万ユーロ)</b>								
<b>ユーロ圏のコマーシャル&amp;個人向けバンキング事業（プライベートバンキングの2/3を含む）</b>								
営業収益	3,258	3,266	3,387	3,347	3,249	3,208	3,326	3,164
営業費用および減価償却費	-2,308	-2,158	-2,097	-2,671	-2,213	-2,108	-2,073	-2,583
営業総利益	950	1,109	1,291	676	1,036	1,100	1,254	582
リスク費用	-316	-240	-250	-179	-119	-230	-186	-191
営業利益	633	869	1,041	496	918	870	1,068	391
持分法適用会社投資損益	0	1	0	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	7	2	0	1	-1	5	31	6
税引前利益	640	872	1,041	498	917	875	1,099	397
<b>コスト/インカム率</b>								
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	24.1	24.4	24.5	24.9	24.1	24.1	24.0	23.2
リスクアセット（十億ユーロ）	207.1	202.4	206.1	205.4	208.8	211.6	209.9	214.7
<b>(単位：百万ユーロ)</b>								
<b>ユーロ圏のコマーシャル&amp;個人向けバンキング事業－P&amp;L/C&amp;Lを除く（プライベートバンキングの2/3を含む）</b>								
営業収益	3,258	3,268	3,391	3,344	3,242	3,195	3,312	3,153
営業費用および減価償却費	-2,308	-2,158	-2,097	-2,671	-2,213	-2,108	-2,073	-2,583
営業総利益	949	1,110	1,294	673	1,029	1,087	1,240	571
リスク費用	-316	-240	-250	-179	-119	-230	-186	-191
営業利益	633	871	1,044	493	910	857	1,053	380
持分法適用会社投資損益	0	1	0	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	7	2	0	1	-1	5	31	6
税引前利益	640	874	1,044	495	909	862	1,085	386
<b>コスト/インカム率</b>								
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	24.1	24.4	24.5	24.9	24.1	24.1	24.0	23.2
リスクアセット（十億ユーロ）	207.1	202.4	206.1	205.4	208.8	211.6	209.9	214.7

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む





(単位: 百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>CPBF (プライベートバンキングの100%を含む) <sup>1</sup></b>								
<b>営業収益</b>	1,605	1,600	1,712	1,673	1,670	1,669	1,728	1,613
うち正味利息収益	854	833	914	896	902	899	919	847
うち手数料	752	768	799	777	768	769	809	766
営業費用および減価償却費	-1,226	-1,133	-1,114	-1,276	-1,210	-1,133	-1,117	-1,239
<b>営業総利益</b>	380	467	598	397	460	536	612	374
リスク費用	-142	-117	-151	-75	21	-102	-64	-93
<b>営業利益</b>	238	350	448	322	481	434	548	281
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	0	0	0	0	-1	1	25	0
<b>税引前利益</b>	238	350	448	322	481	434	574	282
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-41	-42	-45	-37	-48	-36	-42	-31
<b>CPBFの税引前利益</b>	196	308	403	285	433	398	531	250
<b>コスト/インカム率</b>	76.4%	70.8%	65.1%	76.3%	72.4%	67.9%	64.6%	76.8%
融資平均残高 (十億ユーロ)	211	211	211	212	213	212	208	203
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	230	231	231	232	228	227	221	218
預金平均残高 (十億ユーロ)	234	238	239	242	247	249	244	240
リスク費用 (年率、ベースポイント)	25	20	26	13	-4	18	12	17
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	11.3	11.5	11.5	11.5	11.3	11.1	11.0	10.6
リスクアセット (十億ユーロ)	102.8	101.3	103.5	102.7	103.4	105.2	102.8	103.2
(単位: 百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>CPBF-PEL/CELを除く (プライベートバンキングの100%を含む) <sup>1</sup></b>								
<b>営業収益</b>	1,605	1,602	1,716	1,670	1,662	1,656	1,714	1,602
うち正味利息収益	853	834	917	893	894	887	905	836
うち手数料	752	768	799	777	768	769	809	766
営業費用および減価償却費	-1,226	-1,133	-1,114	-1,276	-1,210	-1,133	-1,117	-1,239
<b>営業総利益</b>	379	469	602	394	453	523	598	363
リスク費用	-142	-117	-151	-75	21	-102	-64	-93
<b>営業利益</b>	237	352	451	318	474	421	534	270
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	0	0	0	0	-1	1	25	0
<b>税引前利益</b>	237	352	451	318	473	422	560	270
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-41	-42	-45	-37	-48	-36	-42	-31
<b>CPBFの税引前利益</b>	195	309	406	282	425	385	517	239
<b>コスト/インカム率</b>	76.4%	70.7%	64.9%	76.4%	72.8%	68.4%	65.1%	77.3%
融資平均残高 (十億ユーロ)	211	211	211	212	213	212	208	203
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	230	231	231	232	228	227	221	218
預金平均残高 (十億ユーロ)	234	238	239	242	247	249	244	240
リスク費用 (年率、ベースポイント)	25	20	26	13	-4	18	12	17
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	11.3	11.5	11.5	11.5	11.3	11.1	11.0	10.6
リスクアセット (十億ユーロ)	102.8	101.3	103.5	102.7	103.4	105.2	102.8	103.2

PEL/CELに係る引当金に関する留意事項: 当該引当金は、CPBFの営業収益において計上されているが、住宅財形貯蓄制度 (Plans Epargne Logement: PEL) および住宅財形貯蓄口座 (Comptes Epargne Logement: CEL) から全存続期間にわたり生じるリスクを考慮している。

(単位: 百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>PEL/CELの影響 (フランスのプライベートバンキングの100%)</b>	1	-2	-3	3	8	13	14	11

(単位: 百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>CPBF (プライベートバンキングの2/3を含む)</b>								
<b>営業収益</b>	1,522	1,515	1,627	1,587	1,592	1,592	1,647	1,531
営業費用および減価償却費	-1,181	-1,092	-1,074	-1,230	-1,166	-1,092	-1,078	-1,195
<b>営業総利益</b>	341	423	553	357	426	500	569	336
リスク費用	-146	-116	-150	-72	8	-103	-64	-86
<b>営業利益</b>	196	308	403	285	434	397	505	250
営業外項目	0	0	0	0	-1	1	26	0
<b>税引前利益</b>	196	308	403	285	433	398	531	250
<b>コスト/インカム率</b>	77.5%	72.1%	66.0%	77.5%	73.2%	68.6%	65.4%	78.0%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	11.3	11.5	11.5	11.5	11.3	11.1	11.0	10.6
リスクアセット (十億ユーロ)	99.9	98.6	100.7	99.8	100.5	102.3	100.0	100.4
(単位: 百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>CPBF-PEL/CELを除く (プライベートバンキングの2/3を含む)</b>								
<b>営業収益</b>	1,522	1,517	1,630	1,584	1,584	1,579	1,633	1,520
営業費用および減価償却費	-1,181	-1,092	-1,074	-1,230	-1,166	-1,092	-1,078	-1,195
<b>営業総利益</b>	341	425	556	354	418	487	555	325
リスク費用	-146	-116	-150	-72	8	-103	-64	-86
<b>営業利益</b>	196	310	406	282	426	385	491	239
営業外項目	0	0	0	0	-1	1	26	0
<b>税引前利益</b>	195	309	406	282	425	385	517	239
<b>コスト/インカム率</b>	77.6%	72.0%	65.9%	77.6%	73.6%	69.1%	66.0%	78.6%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	11.3	11.5	11.5	11.5	11.3	11.1	11.0	10.6
リスクアセット (十億ユーロ)	99.9	98.6	100.7	99.8	100.5	102.3	100.0	100.4

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>BNLバンカ・コメルシアレ (プライベートバンキングの100%を含む) <sup>1</sup></b>								
<b>営業収益</b>	704	660	687	675	656	652	671	654
うち正味利息収益	418	398	411	392	369	382	387	380
うち手数料	286	263	276	284	286	271	284	274
営業費用および減価償却費	-465	-448	-428	-464	-426	-440	-416	-454
<b>営業総利益</b>	239	213	259	211	230	213	255	201
リスク費用	-133	-98	-80	-98	-114	-114	-110	-128
<b>営業利益</b>	106	114	179	113	116	99	146	73
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	0	-3	0	0	0	2	0
<b>税引前利益</b>	106	115	176	113	116	99	148	73
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-5	-4	-5	-7	-5	-4	-8	-8
<b>BNLバンカ・コメルシアレの税引前利益</b>	100	110	171	106	111	95	139	65
<b>コスト/インカム率</b>	66.0%	67.8%	62.3%	68.7%	64.9%	67.4%	62.0%	69.3%
融資平均残高 (十億ユーロ)	73	74	76	77	79	79	78	79
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	74	77	79	80	80	80	79	82
預金平均残高 (十億ユーロ)	66	64	65	63	64	65	65	63
リスク費用 (年率、ベースポイント)	72	51	41	49	57	57	55	63
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	5.7	5.8	5.9	5.9	6.0	6.0	6.0	5.9
リスクアセット (十億ユーロ)	45.1	43.7	45.1	46.4	47.6	48.7	49.3	49.8
(単位: 百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>BNLバンカ・コメルシアレ (プライベートバンキングの2/3を含む)</b>								
<b>営業収益</b>	684	641	667	654	635	631	649	633
営業費用および減価償却費	-449	-433	-413	-450	-411	-423	-403	-440
<b>営業総利益</b>	234	208	255	204	224	208	246	193
リスク費用	-133	-98	-80	-98	-114	-114	-109	-128
<b>営業利益</b>	101	110	174	106	110	95	138	65
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	0	-3	0	0	0	2	0
<b>税引前利益</b>	100	110	171	106	111	95	139	65
<b>コスト/インカム率</b>	65.8%	67.5%	61.9%	68.8%	64.7%	67.0%	62.0%	69.5%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	5.7	5.8	5.9	5.9	6.0	6.0	6.0	5.9
リスクアセット (十億ユーロ)	44.7	43.3	44.7	46.0	47.1	48.2	48.8	49.3
(単位: 百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>CPBB (プライベートバンキングの100%を含む) <sup>1</sup></b>								
<b>営業収益</b>	954	1,014	1,006	1,016	947	917	965	935
うち正味利息収益	700	731	706	731	673	636	677	632
うち手数料	254	283	300	285	274	281	288	303
営業費用および減価償却費	-635	-591	-568	-945	-598	-558	-554	-905
<b>営業総利益</b>	319	424	438	70	348	359	412	30
リスク費用	-37	-22	-19	-8	-20	-17	-16	17
<b>営業利益</b>	283	402	418	62	328	342	396	47
持分法適用会社投資損益	0	1	0	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	2	2	3	1	-1	3	3	4
<b>税引前利益</b>	285	405	422	64	327	345	399	52
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-18	-26	-28	-12	-25	-19	-20	-10
<b>CPBBの税引前利益</b>	267	379	394	52	303	326	379	42
<b>コスト/インカム率</b>	66.5%	58.2%	56.5%	93.1%	63.2%	60.9%	57.3%	96.8%
融資平均残高 (十億ユーロ)	140	140	139	138	138	137	134	131
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	143	144	142	142	141	140	136	125
預金平均残高 (十億ユーロ)	153	159	161	160	161	162	162	161
リスク費用 (年率、ベースポイント)	10	6	5	2	6	5	5	-6
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	6.1	6.2	6.3	6.7	6.1	6.1	6.2	5.9
リスクアセット (十億ユーロ)	56.7	54.4	54.4	53.2	54.5	54.2	54.2	58.4
(単位: 百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>CPBB (プライベートバンキングの2/3を含む)</b>								
<b>営業収益</b>	906	961	952	964	896	871	920	890
営業費用および減価償却費	-606	-563	-543	-906	-571	-532	-529	-870
<b>営業総利益</b>	300	398	410	58	324	339	392	20
リスク費用	-35	-22	-19	-8	-21	-17	-16	18
<b>営業利益</b>	264	376	391	51	303	323	376	38
持分法適用会社投資損益	0	1	0	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	2	2	3	1	-1	3	3	4
<b>税引前利益</b>	267	379	394	52	303	326	379	42
<b>コスト/インカム率</b>	66.9%	58.6%	57.0%	94.0%	63.8%	61.1%	57.4%	97.8%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	6.1	6.2	6.3	6.7	6.1	6.1	6.2	5.9
リスクアセット (十億ユーロ)	55.9	53.6	53.6	52.4	53.9	53.4	53.5	57.6

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>CPBL (プライベートバンキングの100%を含む)<sup>1</sup></b>								
<b>営業収益</b>	150	152	145	145	130	116	114	115
うち正味利息収益	126	129	122	120	105	94	90	88
うち手数料	24	23	23	25	25	22	24	27
営業費用および減価償却費	-74	-71	-69	-88	-67	-62	-66	-80
<b>営業総利益</b>	76	81	75	58	63	54	48	35
リスク費用	-2	-4	-1	-1	9	3	3	5
<b>営業利益</b>	75	77	75	56	72	56	51	40
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	5	0	0	0	0	1	0	2
<b>税引前利益</b>	80	77	75	57	72	58	51	42
ウェルネス&アセット・マネジメントに配分される利益	-2	-2	-2	-2	-2	-1	-2	-2
<b>CPBLの税引前利益</b>	78	76	73	55	70	56	49	40
<b>コスト/インカム率</b>	49.1%	47.0%	47.8%	60.3%	51.3%	53.8%	57.8%	69.8%
融資平均残高 (十億ユーロ)	13	13	13	13	13	13	13	13
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	13	13	13	14	13	13	13	13
預金平均残高 (十億ユーロ)	29	29	28	29	30	31	30	29
リスク費用 (年率、ベースポイント)	6	11	2	4	-25	-8	-9	-17
配賦資本 (十億ユーロ、年初末；プライベートバンキングの2/3を含む)	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
リスクアセット (十億ユーロ)	6.7	7.0	7.2	7.3	7.4	7.8	7.6	7.5
(単位：百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>CPBL (プライベートバンキングの2/3を含む)</b>								
<b>営業収益</b>	146	148	141	142	127	113	110	111
営業費用および減価償却費	-72	-69	-67	-86	-65	-61	-64	-78
<b>営業総利益</b>	74	79	74	56	62	52	46	33
リスク費用	-2	-4	-1	-1	8	3	3	5
<b>営業利益</b>	72	75	73	54	70	55	49	38
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	5	0	0	0	0	1	0	2
<b>税引前利益</b>	78	76	73	55	70	56	49	40
<b>コスト/インカム率</b>	49.1%	46.7%	47.7%	60.5%	51.3%	53.7%	57.9%	70.4%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
リスクアセット (十億ユーロ)	6.6	6.9	7.0	7.1	7.3	7.7	7.5	7.4
(単位：百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>他の国々のコマース&amp;個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの100%を含む) – 欧州・地中海沿岸諸国</b>								
<b>営業収益</b>	627	809	603	648	534	607	620	585
うち正味利息収益	511	682	509	540	433	488	508	465
うち手数料	116	127	95	108	101	118	112	120
営業費用および減価償却費	-431	-455	-344	-435	-419	-395	-416	-428
<b>営業総利益</b>	196	354	259	212	115	212	204	156
リスク費用 (金融商品に係るリスクに関するその他の純損失を含む)	111	-50	-56	-49	-10	-55	-47	-41
<b>営業利益</b>	307	303	203	164	105	156	158	116
持分法適用会社投資損益	58	74	64	87	74	100	132	70
その他の営業外項目	-73	-123	-24	37	-53	-5	-20	-9
<b>税引前利益</b>	292	255	242	288	126	251	270	177
ウェルネス&アセット・マネジメントに配分される利益	-12	-17	-10	-8	-6	-3	-3	-3
<b>他の国々のコマース&amp;個人向けバンキング事業の税引前利益 – 欧州・地中海沿岸諸国</b>	280	238	232	280	120	248	267	174
<b>コスト/インカム率</b>	68.7%	56.3%	57.1%	67.2%	78.4%	65.1%	67.0%	73.3%
融資平均残高 (十億ユーロ)	33	33	32	34	35	35	35	34
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	34	35	36	37	38	38	37	37
預金平均残高 (十億ユーロ)	43	41	40	42	43	43	41	40
リスク費用 (年率、ベースポイント)	23	57	-26	-1	11	58	51	45
配賦資本 (十億ユーロ、年初末；プライベートバンキングの2/3を含む)	5.3	5.4	5.5	5.6	5.5	5.4	5.2	5.1
リスクアセット (十億ユーロ、年初末)	48.8	46.4	46.6	49.5	50.5	52.0	51.8	48.4
(単位：百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>他の国々のコマース&amp;個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの2/3を含む) – 欧州・地中海沿岸諸国</b>								
<b>営業収益</b>	613	789	591	638	526	601	615	580
営業費用および減価償却費	-428	-453	-342	-433	-417	-393	-414	-427
<b>営業総利益</b>	184	337	249	204	109	208	201	153
リスク費用 (金融商品に係るリスクに関するその他の純損失を含む)	111	-50	-56	-49	-10	-55	-46	-41
<b>営業利益</b>	295	286	193	156	99	153	155	112
持分法適用会社投資損益	58	74	64	87	74	100	132	70
その他の営業外項目	-73	-123	-24	37	-53	-5	-20	-9
<b>税引前利益</b>	280	238	232	280	120	248	267	174
<b>コスト/インカム率</b>	69.9%	57.4%	57.9%	67.9%	79.2%	65.4%	67.3%	73.6%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	5.3	5.4	5.5	5.6	5.5	5.4	5.2	5.1
リスクアセット (十億ユーロ)	48.8	46.4	46.6	49.5	50.5	52.0	51.8	48.4

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>専門的金融事業 (パーソナル・ファイナンス、アルバルとリーシング・ソリューションズ、ニューデジタル事業と個人投資家事業-プライベートバンキングの100%を含む) <sup>1</sup></b>								
営業収益	2,385	2,516	2,625	2,512	2,369	2,416	2,481	2,405
営業費用および減価償却費	-1,298	-1,250	-1,252	-1,377	-1,244	-1,179	-1,198	-1,274
営業総利益	1,087	1,267	1,373	1,136	1,125	1,238	1,283	1,131
リスク費用	-574	-471	-426	-418	-485	-396	-380	-357
営業利益	512	796	947	717	640	841	902	774
持分法適用会社投資損益	22	16	7	7	-5	21	24	16
その他の営業外項目	-39	8	54	-31	-8	3	15	13
税引前利益	495	819	1,008	693	627	865	942	804
ウェルネス&アセット・マネジメントに配分される利益	0	-1	-1	-1	-1	0	0	-1
専門的金融事業の税引前利益	494	818	1,007	692	626	865	941	803
<b>コスト/インカム率</b>	<b>54.4%</b>	<b>49.7%</b>	<b>47.7%</b>	<b>54.8%</b>	<b>52.5%</b>	<b>48.8%</b>	<b>48.3%</b>	<b>53.0%</b>
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	136	136	127	125	123	123	121	118
リスク費用 (年率、ベースポイント)	169	139	134	134	157	129	125	121
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	13.8	13.6	13.4	13.1	12.1	12.0	11.8	11.4
リスクアセット (十億ユーロ)	122.2	120.1	119.3	115.9	111.6	109.0	108.6	106.8
(単位：百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>パーソナル・ファイナンス</b>								
営業収益	1,256	1,292	1,327	1,288	1,283	1,345	1,371	1,388
営業費用および減価償却費	-742	-713	-733	-810	-739	-689	-718	-776
営業総利益	514	580	593	477	544	656	653	613
リスク費用	-482	-397	-363	-358	-413	-336	-309	-315
営業利益	32	183	230	120	131	320	344	297
持分法適用会社投資損益	24	18	10	9	-5	22	26	14
その他の営業外項目	-35	-4	50	-7	-15	-2	-6	-7
税引前利益	21	197	290	122	111	340	365	305
<b>コスト/インカム率</b>	<b>59.1%</b>	<b>55.2%</b>	<b>55.3%</b>	<b>62.9%</b>	<b>57.6%</b>	<b>51.2%</b>	<b>52.4%</b>	<b>55.9%</b>
融資平均残高 (十億ユーロ)	107	105	105	97	96	94	94	93
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	108	108	100	98	97	97	96	94
リスク費用 (年率、ベースポイント)	179	147	145	145	170	139	129	134
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	9.2	9.1	8.8	8.6	8.1	8.1	8.0	7.7
リスクアセット (十億ユーロ)	82.6	81.8	82.7	77.7	74.8	73.0	73.1	72.4
(単位：百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>アルバルとリーシング・ソリューションズ</b>								
営業収益	883	958	1,046	982	858	874	893	812
営業費用および減価償却費	-373	-367	-358	-403	-347	-341	-341	-366
営業総利益	510	591	688	579	511	534	553	446
リスク費用	-50	-46	-33	-38	-30	-38	-49	-30
営業利益	460	546	655	541	482	496	504	416
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	2	1	1	4
その他の営業外項目	-5	12	3	-24	7	5	20	20
税引前利益	456	557	658	517	491	502	525	440
<b>コスト/インカム率</b>	<b>42.2%</b>	<b>38.3%</b>	<b>34.2%</b>	<b>41.0%</b>	<b>40.4%</b>	<b>39.0%</b>	<b>38.2%</b>	<b>45.1%</b>
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	3.8	3.8	3.8	3.7	3.5	3.4	3.3	3.3
リスクアセット (十億ユーロ)	34.9	33.8	32.0	33.5	32.0	31.2	30.7	29.5
合計契約残高 (十億ユーロ)	59	57	55	53	51	49	49	48
ファイナンスフリート契約台数 (千台)	1,702	1,668	1,643	1,614	1,592	1,520	1,501	1,484

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む





(単位: 百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>ニューデジタル事業と個人投資家事業 (プライベートバンキングの100%を含む) <sup>1</sup></b>								
営業収益	247	266	252	243	228	197	217	205
営業費用および減価償却費	-184	-170	-160	-164	-158	-149	-139	-132
営業総利益	63	96	91	79	70	48	77	73
リスク費用	-43	-29	-30	-23	-42	-23	-23	-12
営業利益	20	67	62	57	28	25	54	61
持分法適用会社投資損益	-2	-2	-2	-2	-2	-2	-2	-3
その他の営業外項目	0	0	0	0	0	0	1	0
税引前利益	18	65	60	55	25	23	53	58
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	0	-1	-1	-1	-1	0	0	-1
ニューデジタル事業と個人投資家事業の税引前利益	18	64	59	54	25	22	52	58
<b>コスト/インカム率</b>	<b>74.5%</b>	<b>63.8%</b>	<b>63.7%</b>	<b>67.4%</b>	<b>69.4%</b>	<b>75.7%</b>	<b>64.3%</b>	<b>64.4%</b>
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	0.8	0.8	0.8	0.8	0.5	0.5	0.5	0.4
リスクアセット (十億ユーロ)	4.7	4.6	4.5	4.7	4.8	4.9	4.8	4.9
個人投資家事業の融資平均残高 (十億ユーロ)	2	2	2	2	2	2	2	1
個人投資家事業の預金平均残高 (十億ユーロ)	32	32	32	32	30	31	31	30
個人投資家事業の運用資産残高 (十億ユーロ)	168	164	162	157	150	150	147	162
個人投資家事業の欧州の顧客注文件数 (百万件)	8.8	9.2	9.0	10.0	9.2	10.1	10.1	13.0
(単位: 百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>ニューデジタル事業と個人投資家事業 (プライベートバンキングの2/3を含む)</b>								
営業収益	244	263	248	240	225	195	214	203
営業費用および減価償却費	-181	-168	-158	-162	-156	-147	-137	-130
営業総利益	63	95	90	78	69	48	77	72
リスク費用	-43	-29	-30	-23	-42	-23	-23	-12
営業利益	20	66	61	56	27	25	54	60
持分法適用会社投資損益	-2	-2	-2	-2	-2	-2	-2	-3
その他の営業外項目	0	0	0	0	0	0	1	0
税引前利益	18	64	59	54	25	22	52	58
<b>コスト/インカム率</b>	<b>74.4%</b>	<b>63.8%</b>	<b>63.7%</b>	<b>67.4%</b>	<b>69.4%</b>	<b>75.5%</b>	<b>64.1%</b>	<b>64.3%</b>
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	0.8	0.8	0.8	0.8	0.5	0.5	0.5	0.4
リスクアセット (十億ユーロ)	4.7	4.6	4.5	4.7	4.8	4.9	4.8	4.9

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>インベストメント&amp;プロテクションサービス (IPS) 部門</b>								
営業収益	1,331	1,420	1,430	1,409	1,529	1,458	1,426	1,400
営業費用および減価償却費	-906	-884	-879	-897	-956	-883	-862	-851
営業総利益	425	536	551	512	572	575	564	549
リスク費用	3	-13	-2	-1	14	2	-5	-7
営業利益	428	523	550	511	586	577	559	542
持分法適用会社投資損益	18	80	58	68	61	31	41	45
その他の営業外項目	-79	3	0	0	-4	41	16	35
税引前利益	367	606	607	578	643	650	617	622
コスト/インカム率	68.1%	62.2%	61.4%	63.7%	62.6%	60.5%	60.4%	60.8%
運用資産残高 (十億ユーロ、プライベートバンキングの100%)	1,236	1,204	1,218	1,213	1,172	1,157	1,180	1,227
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	10.3	10.4	10.4	10.6	10.0	10.0	10.0	9.9
リスクアセット (十億ユーロ)	41.1	40.1	40.1	40.6	40.6	43.2	44.7	48.7
(単位：百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>保険事業</b>								
営業収益	473	536	557	524	500	514	512	490
営業費用および減価償却費	-201	-202	-203	-202	-198	-199	-201	-197
営業総利益	272	334	353	322	302	315	311	294
リスク費用	0	0	0	0	0	0	0	0
営業利益	272	334	353	322	302	315	311	294
持分法適用会社投資損益	9	78	47	59	32	20	24	29
その他の営業外項目	-79	0	0	0	-2	1	17	-3
税引前利益	202	411	400	381	332	336	352	319
コスト/インカム率	42.5%	37.8%	36.5%	38.5%	39.5%	38.7%	39.2%	40.1%
運用資産残高 (十億ユーロ)	255	245	250	251	247	248	255	270
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	7.0	7.0	7.1	7.3	7.1	7.1	7.2	7.2
リスクアセット (十億ユーロ)	15.8	14.6	14.5	14.6	14.8	16.5	18.2	23.2
(単位：百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>ウェルス&amp;アセット・マネジメント事業</b>								
営業収益	858	884	873	885	1,029	944	914	910
営業費用および減価償却費	-705	-681	-675	-695	-759	-684	-661	-655
営業総利益	153	202	198	190	270	260	253	255
リスク費用	3	-13	-2	-1	14	2	-5	-7
営業利益	156	189	196	189	284	262	248	249
持分法適用会社投資損益	9	2	11	9	29	11	18	16
その他の営業外項目	0	4	0	0	-2	40	-1	38
税引前利益	165	195	207	198	311	313	265	303
コスト/インカム率	82.2%	77.1%	77.3%	78.6%	73.8%	72.4%	72.3%	72.0%
運用資産残高 (十億ユーロ、プライベートバンキングの100%)	981	959	968	962	925	908	925	956
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	3.4	3.4	3.4	3.3	2.9	2.9	2.8	2.8
リスクアセット (十億ユーロ)	25.3	25.5	25.6	26.0	25.8	26.7	26.5	25.5
(単位：百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>ウェルス・マネジメント事業</b>								
営業収益	385	414	395	409	392	379	371	370
営業費用および減価償却費	-301	-292	-285	-318	-317	-294	-273	-299
営業総利益	84	121	110	91	76	85	97	71
リスク費用	1	-2	-1	-1	13	1	-3	-7
営業利益	85	119	109	91	89	86	94	64
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	4	0	0	-1	40	0	0
税引前利益	85	123	109	91	87	126	94	64
コスト/インカム率	78.1%	70.6%	72.1%	77.7%	80.7%	77.5%	73.7%	80.8%
運用資産残高 (十億ユーロ、プライベートバンキングの100%)	415	408	410	406	393	389	394	403
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	1.3	1.3	1.3	1.3	1.4	1.4	1.3	1.3
リスクアセット (十億ユーロ)	11.2	11.7	11.3	11.8	12.0	13.1	13.3	12.3
(単位：百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>アセット・マネジメント事業 (不動産管理、IPSインベストメントを含む)</b>								
営業収益	473	470	478	476	636	565	543	540
営業費用および減価償却費	-405	-389	-390	-377	-442	-390	-387	-356
営業総利益	69	81	87	98	194	175	156	184
リスク費用	2	-11	0	0	1	1	-2	1
営業利益	71	70	87	98	195	176	154	185
持分法適用会社投資損益	9	2	11	9	29	11	18	16
その他の営業外項目	0	0	0	0	0	0	-1	38
税引前利益	80	72	98	107	224	187	171	239
コスト/インカム率	85.5%	82.8%	81.7%	79.3%	69.5%	69.0%	71.3%	65.9%
運用資産残高 (十億ユーロ)	566	551	558	555	532	519	531	553
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	2.1	2.1	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5
リスクアセット (十億ユーロ)	14.0	13.8	14.3	14.2	13.8	13.6	13.2	13.2



(単位：百万ユーロ)	4Q23	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
<b>コーポレート・センター (合計)</b>								
営業収益	-428	-304	-665	-744	-627	-324	-402	-364
うちボラティリティの修正再表示 (保険事業)	11	-2	-33	-16	-87	-31	-108	-158
うち付随費用の修正再表示 (内部の販売会社)	-284	-236	-271	-250	-296	-249	-252	-259
営業費用および減価償却費	-104	16	-47	-375	85	27	64	-283
うち事業再編、IT強化、事業適応費用	-214	-127	-151	-361	-188	-125	-106	-72
うち付随費用の修正再表示 (内部の販売会社)	284	236	271	250	296	249	252	259
営業総利益	-533	-287	-712	-1,118	-542	-296	-338	-648
リスク費用	-3	-7	-33	6	59	-126	-64	-54
金融商品に係るリスクに関するその他の純損失	-775	0	0	0	0	0	0	0
営業利益	-1,311	-294	-745	-1,112	-483	-423	-402	-702
持分法適用会社投資損益	-26	16	17	12	-38	19	19	23
その他の営業外項目	76	3	93	-1	51	-2	-66	-42
税引前利益	-1,261	-275	-636	-1,101	-469	-406	-449	-722
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	4.5	4.4	4.3	4.3	3.7	3.7	3.5	3.8
リスクアセット (十億ユーロ)	43.0	43.6	42.1	38.3	37.1	27.9	28.3	22.1
<b>(単位：百万ユーロ)</b>								
<b>コーポレート・センター：保険事業に関連するボラティリティの修正再表示 (IFRS第9号) および付随費用 (内部の販売会社)</b>								
営業収益	-273	-239	-305	-266	-384	-280	-359	-417
うちボラティリティの修正再表示 (保険事業)	11	-2	-33	-16	-87	-31	-108	-158
うち付随費用の修正再表示 (内部の販売会社)	-284	-236	-271	-250	-296	-249	-252	-259
営業費用および減価償却費	284	236	271	250	296	249	252	259
うち付随費用の修正再表示 (内部の販売会社)	284	236	271	250	296	249	252	259
営業総利益	11	-2	-33	-16	-87	-31	-108	-158
リスク費用	0	0	0	0	0	0	0	0
営業利益	11	-2	-33	-16	-87	-31	-108	-158
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前利益	11	-2	-33	-16	-87	-31	-108	-158
<b>(単位：百万ユーロ)</b>								
<b>コーポレート・センター 保険事業に関連するボラティリティの修正再表示 (IFRS第9号) および付随費用 (内部の販売会社) を除く</b>								
営業収益	-156	-65	-361	-478	-244	-43	-43	52
営業費用および減価償却費	-388	-220	-318	-624	-211	-222	-187	-542
うち事業再編、IT強化、事業適応費用	-214	-127	-151	-361	-188	-125	-106	-72
営業総利益	-544	-285	-679	-1,102	-455	-265	-230	-490
リスク費用	-3	-7	-33	6	59	-126	-64	-54
金融商品に係るリスクに関するその他の純損失	-775	0	0	0	0	0	0	0
営業利益	-1,322	-292	-712	-1,096	-396	-391	-294	-544
持分法適用会社投資損益	-26	16	17	12	-38	19	19	23
その他の営業外項目	76	3	93	-1	51	-2	-66	-42
税引前利益	-1,272	-273	-603	-1,085	-382	-374	-342	-564



## 代替的業績指標（ALTERNATIVE PERFORMANCE MEASURES: APM） – フランス金融市場庁（AMF）の一般規則第223-1条に基づく開示

代替的業績指標	定義	使用理由
コーポレート・センターの損益の合計	<p>2023年1月1日から、IFRS第9号が保険事業に適用されると同時にIFRS第17号（保険契約）が適用されることを受けて、「コーポレート・センター（保険事業に関連するボラティリティの修正再表示（IFRS第9号）および付随費用（内部の販売会社）を含む）」の損益の合計をいい、以下を含む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- IFRS第9号公正価値会計に基づく一部の保険資産の認識により生じた業績のボラティリティの、コーポレート・センターの営業収益への修正再表示</li> <li>- 「保険事業に帰属する」とみなされる営業費用から内部マージンを差し引いた額は、営業収益から差し引いて計上され、営業費用としては計上されない。これらの会計項目は、保険契約を販売する保険事業および当グループの事業体（保険事業を除く）（すなわち内部の販売会社）にのみ関係し、営業総利益には影響を与えない。内部販売契約に関連する項目による影響は、「コーポレート・センター」に帰属する。</li> </ul> <p>グループの調整後の損益の合計は「連結四半期業績の推移」の表で開示</p>	個々の事業の業績の読み方を混乱させないための、「保険事業に帰属する」営業費用が内部販売契約に及ぼす影響のコーポレート・センターへの振替
コスト/インカム率	営業費用を営業収益で除した比率	銀行業務における業務の効率性を表す指標
リスク費用+期首顧客向け融資残高 (単位: ペーシスポイント)	<p>リスク費用（単位: 百万ユーロ）を期首の顧客向け融資残高で除したもの</p> <p>リスク費用には、金融商品に係るリスクに関するその他の純損失は含まない</p>	事業別の貸出金残高総額におけるリスクレベルの指標
分配可能純利益	<p>2023年2月1日のBank of the Westの売却後であるだけでなく、単一破綻処理基金の増額の最終年度と予想され、特別損益項目が特徴的な重要な年度である2023年度のグループの本源的業績を反映するために、2023年2月に行われた発表に基づき調整された純利益までの損益の合計。</p> <p>2023年度決算資料に詳述されている調整は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 予想される2023年度における単一破綻処理基金の増額終了の影響を加味する。</li> <li>- 売却予定の企業の純利益（IFRS第5号の適用）（特に、Bank of the Westの売却による譲渡益）およびBank of the Westの売却に関連する追加的項目を除外する。</li> <li>- 2022年度第4四半期に欧州中央銀行が決定したTLTROの条件変更に伴うヘッジ調整による一時的なマイナス影響等の特別損益項目および訴訟に対する特別引当金を除外する。</li> </ul> <p>分配可能純利益は、2023年度の通常分配の計算および2023年度のグループの業績を観察するために使用される。</p>	Bank of the Westの売却による影響が生じた後の重要な年度であり、単一破綻処理基金への拠出の増額の最終年度と予想され、特別損益項目が特徴的である2023年度における、BNPパリバ・グループの本源的業績を反映した純利益を表す指標
不良債権カバー率	金融資産（ステージ3）の引当金と当該資産の減損後残高（ステージ3）との関係を表す指標。対象となる資産は、バランスシート上およびオフバランスシートの債権を含み、受け取った担保と相殺する。顧客向けおよび金融機関向け債権には、償却原価で測定される負債および資本を通じて公正価値で測定する有価証券を含む（保険事業を除く）。	不良債権に対する引当の状況を表す指標
営業費用の変化 (IFRIC第21号を除外後)	IFRIC第21号に基づく税金・拠出金を除いた上で、営業費用の変化を算定	IFRIC第21号に基づく税金および拠出金は、事業年度に関わるほぼ全額を上半期に計上するが、その影響を排除し、他の四半期との比較の際の混乱を避け、当事業年度の営業費用の推移をとらえる指標





代替的業績指標	定義	使用理由
保険事業の損益の合計 (営業収益、営業費用、 営業総利益、営業利益、 税引前利益の合計)	保険事業の損益の合計（営業収益、営業総利益、営業利益、税引前利益の合計） (なお、コーポレート・センターに振り替えられる、一部の資産の純損益を通じた公正価値会計（IFRS第9号）により生じるボラティリティを除く。売却時に実現した損益および潜在的な長期減価償却費は、保険事業の損益に含まれる。） グループの調整後の損益の合計は「連結四半期業績の推移」の表で開示	営業上の本源的業績を反映した保険事業の業績の表示（技術面および財政面）
一時項目を除く当グループの純利益	一時項目を除いて算定された株主帰属純利益 一時項目の詳細については、決算資料に添付された「主な一時項目」で開示	多額の非経常的項目あるいは本業の業績を反映しない項目を除外した、BNPパリバ・グループの純利益を表す指標。除外される項目の主なものに、事業再編、事業適応、IT強化および事業変革費用がある。
事業部門の損益の合計 (各事業部門の営業収益、正味利息収益、営業費用、営業総利益、営業利益、税引前利益の合計)	コマーシャル&個人向けバンキングサービス部門、 インベストメント&プロテクションサービス部門、 ホールセールバンキング部門の損益の合計 (なお、コマーシャル&個人向けバンキング事業の損益の合計には、フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルク、ドイツ、ポーランドおよびトルコのプライベートバンキングの2/3を含む) BNPパリバ・グループの損益の合計 =事業部門 + コーポレート・センターの損益の合計 グループの調整後の損益の合計は「コア事業別業績」の表で開示 コマーシャル&個人向けバンキングにおける正味利息収益は、正味受取利息（財務諸表の注記3.aに定義される）のみならずその他の収益（財務諸表の注記3.c、3.dおよび3.eに定義される）を含むが、手数料（財務諸表の注記3.bに定義される）を除く。コマーシャル&個人向けバンキングまたは保険契約を販売する専門的金融事業の損益の合計は、「保険事業に帰属する」とみなされる営業費用に対するIFRS第17号の適用（営業収益から差し引いて計上され、営業費用としては計上されない）による会計表示への影響を除く。この影響はコーポレート・センターに及ぶ。	BNPパリバ・グループの本業の業績を示す指標
PEL/CELの影響を除く損益の合計 (各事業部門の営業収益、営業総利益、営業利益、税引前利益の合計)	PEL/CELの影響を除く損益の合計 グループの調整後の損益の合計は「連結四半期業績の推移」の表で開示	PEL/CEL口座の全存続期間にわたり発生するリスクに対する引当金変動を除く、当期の損益の合計を表す指標
プライベートバンキングの100%を含むコマーシャル&個人向けバンキング事業の損益の合計	プライベートバンキング全体の損益を含むコマーシャル&個人向けバンキング事業の損益の合計 グループの調整後の損益の合計は「連結四半期業績の推移」の表で開示	コマーシャル&個人向けバンキング事業の業績を示す指標であり、プライベートバンキングの業績の全部を含む (プライベートバンキングは、コマーシャル&個人向けバンキング(2/3)とウェルス・マネジメント(1/3)の共同責任のもとに置かれるが、その割合に基づきウェルス・マネジメントに損益を配分する前の数値)
自己資本利益率 (ROE)	ROEの詳細な算定方法については、決算資料に添付された「株主資本利益率」で開示	BNPパリバ・グループの自己資本の収益力を表す指標



代替的業績指標	定義	使用理由
有形自己資本利益率 (ROTE)	ROTEの詳細な算定方法については、決算資料に添付された「株主資本利益率」で開示	BNPパリバ・グループの有形自己資本の収益力を表す指標



## 比較分析 — 連結範囲の変更および為替レート変動による影響の排除

連結範囲の変更による影響を排除するための方法は、買収、売却など、取引の形態に依る。その計算の根本的な目的は、期間比較可能性を確保することにある。

企業を買収または新設した場合、当該企業の業績は、同企業が過年度に未だ買収あるいは設立されていなかった期間に対応する分について、連結範囲の変更による影響を除く当会計年度の期間から排除する。

事業売却の場合、当該事業体の業績は、売却以降の期間に対応する過年度の四半期について対称的に排除する。

連結の会計処理方法を変更した場合、同一条件の下に調整した四半期業績に対して、2会計年度（当期および前期）の間で存在した最も低い持分比率を適用する。

為替レート変動による影響を除いた比較分析においては、前年度の四半期（比較対象となる四半期）業績を、当四半期（分析対象となる四半期）の為替レートで修正再表示する。これらの計算はすべて、会社の報告通貨を基準に行う。

### 注：

**営業費用**：従業員給与および従業員給付制度に関わる費用、その他営業費用、有形固定資産の減価償却費、無形固定資産の償却費、および不動産・機械設備を含む固定資産の減損などの総額を指す。本資料全体にわたり、「営業費用」および「費用」は特に区別することなく使われている。

**事業部門**：以下の3部門からなる。

- **ホールセールバンキング (CIB) 部門**：グローバル・バンキング事業、グローバル・マーケット事業、証券管理事業
- **コマーシャル&個人向けバンキングサービス (CPBS) 部門**：
  - コマーシャル&個人向けバンキング事業（フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、欧州・地中海沿岸諸国）
  - 専門的金融事業—アルパル、リーシング・ソリューションズ、パーソナル・ファイナンス、ニューデジタル事業（Nickel、Lyf等を含む）、個人投資家事業
- **インベストメント&プロテクションサービス (IPS) 部門**：保険事業、ウェルス&アセット・マネジメント事業（ウェルス・マネジメント事業、アセット・マネジメント事業、不動産管理事業、プリンシパル・インベストメントを含む）



堅調な業績.....	3
ホールセールバンキング（CIB）部門.....	9
コマーシャル&個人向けバンキングサービス（CPBS）部門.....	11
インベストメント&プロテクションサービス（IPS）部門.....	19
コーポレート・センター.....	21
財務構造.....	23
連結損益計算書.....	25
<b>2023年度第4四半期 – コア事業別業績</b> .....	<b>26</b>
<b>2023年度通期 – コア事業別業績</b> .....	<b>27</b>
連結四半期業績の推移.....	28
代替的業績指標（ALTERNATIVE PERFORMANCE MEASURES: APM） – フランス金融市場庁（AMF）の一般規則第223-1条に基づく開示.....	40